

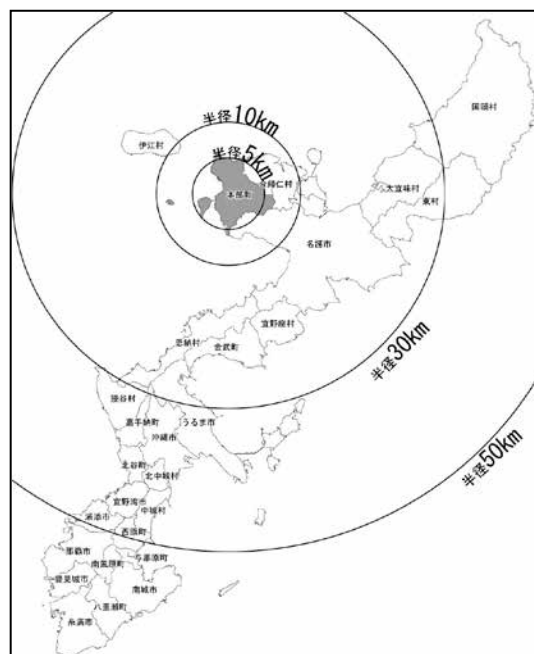
## 第 章 本部町における現状と課題

### 1．本部町の現状

#### (1) 位置

本町は、東経 127 度 54 分、北緯 26 度 39 分にあり、沖縄本島北部の東シナ海に突き出した本部半島の先端部に位置している。瀬底島及び水納島の離島を有しており、総面積は 5,432ha である。東西南北に約 8 km の三角形に近い町域となっている。

町域の東側を名護市、北側を今帰仁村と隣接し、西の洋上には伊江島（伊江村）、北方の洋上には伊平屋島（伊平屋村）、伊是名島（伊是名村）の島々を臨む位置にある。



#### (2) 地勢

地形は大きく山地と台地に分かれ、全般的に険しい山地形状をなしている。本部半島の中央部は八重岳（453.3m）、ミラムイ（本部富士、237 m）等の丘陵が連なる。丘陵の西側から南側の裾野に広がる平坦地では、農地や市街地が形成されている。

この平坦地には満名川が流れ、渡久地で海に注ぐ。古くは流域に開けた低地に満名タープクと呼ばれる稲作地帯が広がっていたが、現在はその殆どが市街地又は集落地となっている。

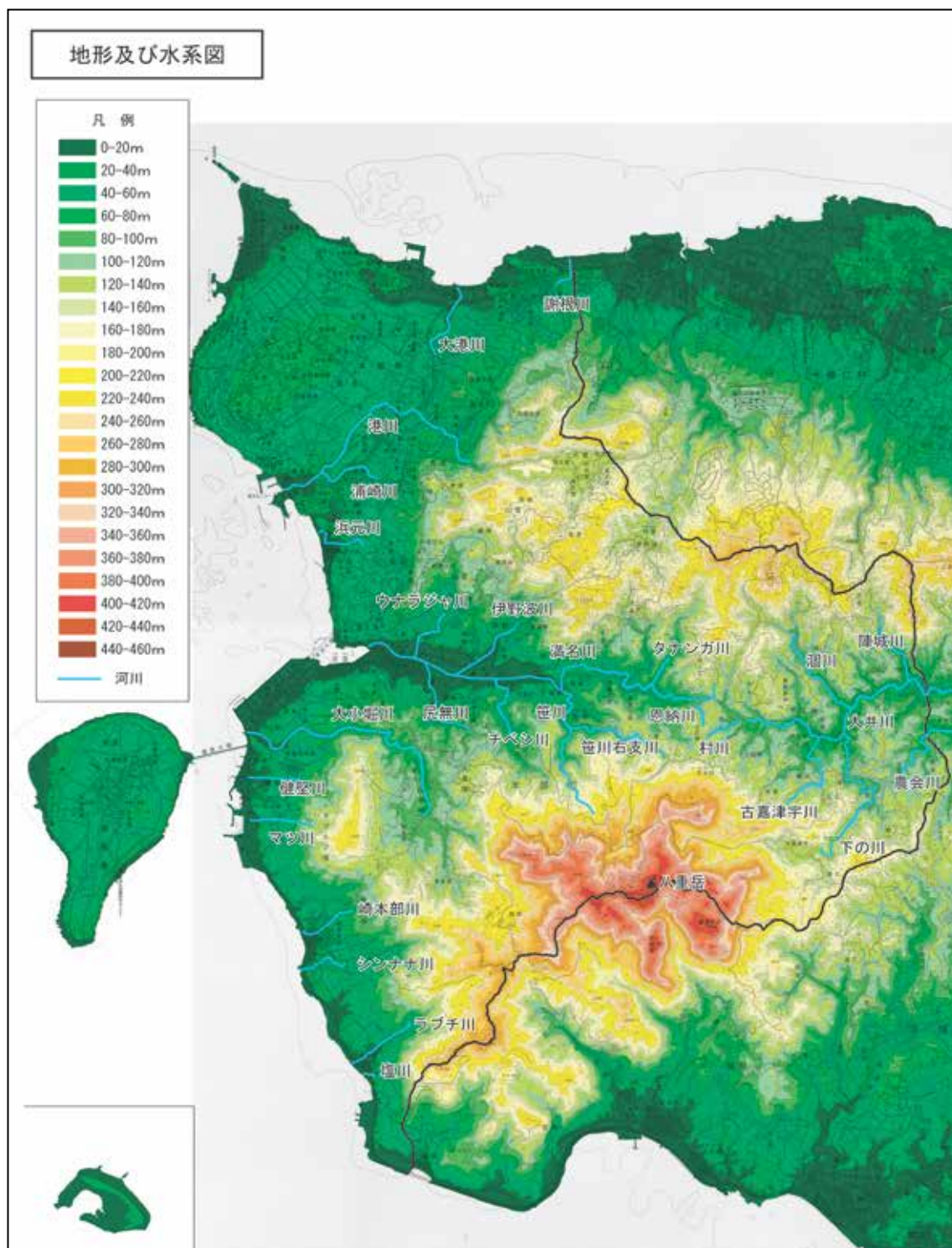
水系は、二級河川 2 本（満名川（L=4,000m）、大井川（L=8,000m））、準用河川 1 本（伊野波川）、普通河川 26 本を有している。

満名川は、昭和 44 年に床下浸水等の被害を沿岸に与えたことがあるが、その後は河川改修等により浸水の害はみられない。しかしながら、上流部における開発等により、雨水の河川流域時間が短縮されて増水することがある。

大井川は、本町と今帰仁村にまたがる河川である。上流部の水域は、ミカン栽培が盛んな伊豆味となっており、農地の多くが果樹園であるため、裸地となることが少なく、河川環境と調和した農業経営が行われている。

水質については、現在大きな問題は生じていない。

## 第 章 本部町における現状と課題



(3) 人口動向

1) 人口・世帯数

本町の人口は、国勢調査によると平成 17 年現在 14,383 人である。上本部村編入合併（昭和 46 年 11 月 1 日）以後の推移をみると昭和 50 年から平成 17 年までの 30 年間で 3,440 人（減少率 19.3%）減少している。

世帯数は、平成 17 年現在 4,878 世帯で、昭和 50 年以降一貫して増加傾向が続いており、昭和 50 年から平成 17 年までの 30 年間で 559 世帯（増加率 12.9%）増加している。

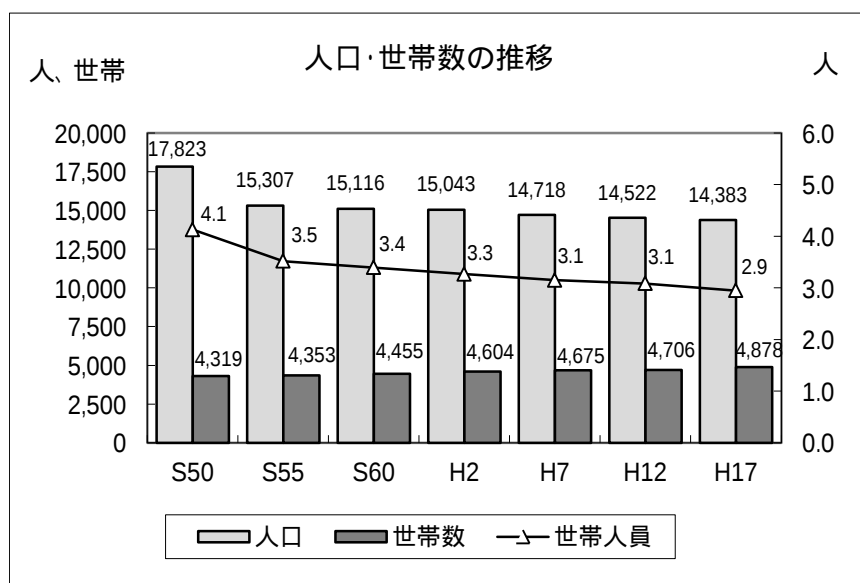
世帯人員は、昭和 50 年の 4.1 人から減少し続け、平成 17 年現在では 2.9 人となっている。世帯数は増加傾向にあるが、世帯人員が減少していることから、世帯分離および世帯の小規模化がうかがえる。

表 人口・世帯数の推移

(単位:人、世帯、%)

|       | S50    | S55    | S60    | H2     | H7     | H12    | H17    |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 人口    | 17,823 | 15,307 | 15,116 | 15,043 | 14,718 | 14,522 | 14,383 |
| 世帯数   | 4,319  | 4,353  | 4,455  | 4,604  | 4,675  | 4,706  | 4,878  |
| 世帯人員  | 4.1    | 3.5    | 3.4    | 3.3    | 3.1    | 3.1    | 2.9    |
| 人口増加率 | -      | -14.1% | -1.2%  | -0.5%  | -2.2%  | -1.3%  | -1.0%  |
| 世帯増加率 | -      | 0.8%   | 2.3%   | 3.3%   | 1.5%   | 0.7%   | 3.7%   |

資料:国勢調査



## 第 章 本部町における現状と課題

### 2) 年齢別人口

平成 17 年の本町における年齢別人口（年少人口：0～14 歳、生産年齢人口：15～64 歳、高齢人口：65 歳以上）の内訳は、年少人口 2,080 人（14.5%）、生産人口 8,805 人（61.2%）、高齢人口 3,498 人（24.3%）である。

昭和 55 年からの推移をみると、年少人口は一貫して減少しており、昭和 55 年から平成 17 年までの 25 年間で約 1,565 人減少している。生産年齢人口は昭和 55 年から平成 7 年までは減少しているが、平成 12 年と 17 年は増加している。高齢人口は一貫して増加しており、昭和 55 年から平成 17 年までの 25 年間で 1,275 人増加している。

平成 7 年に年少人口と高齢人口の構成比がほぼ同数になり、平成 17 年には高齢人口の構成比が年少人口を 9.8 ポイント上回っている。

本町の平成 17 年における構成比を県内の平均値と比較すると、年少人口は 4.2 ポイント、生産年齢人口は 4.0 ポイント下回るが、高齢人口は 8.2 ポイント上回っている。したがって、県内において比較的高齢化が進行していることがうかがえる。

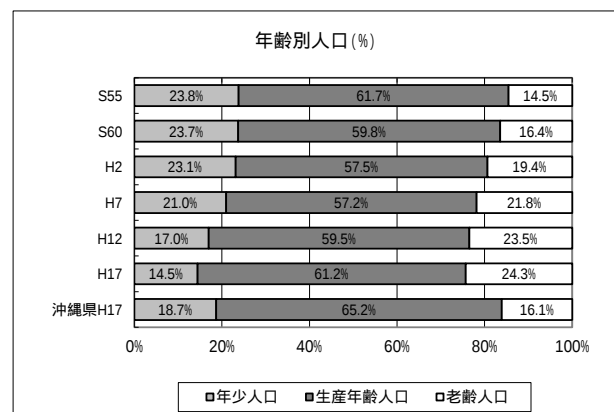
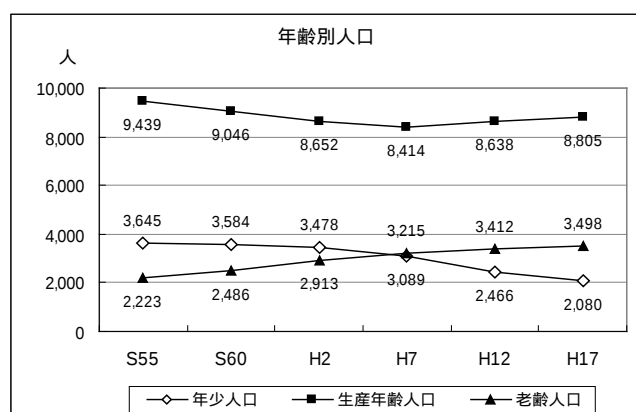
表 年齢別人口の推移

(単位:人、%)

|                    |     | S55   | S60   | H2    | H7     | H12    | H17    | 沖縄県H17  |
|--------------------|-----|-------|-------|-------|--------|--------|--------|---------|
| 年少人口<br>(0～14歳)    | 実数  | 3,645 | 3,584 | 3,478 | 3,089  | 2,466  | 2,080  | 254,203 |
|                    | 構成比 | 23.8% | 23.7% | 23.1% | 21.0%  | 17.0%  | 14.5%  | 18.7%   |
|                    | 増減率 | -     | -1.7% | -3.0% | -11.2% | -20.2% | -15.7% | -       |
| 生産年齢人口<br>(15～64歳) | 実数  | 9,439 | 9,046 | 8,652 | 8,414  | 8,638  | 8,805  | 888,046 |
|                    | 構成比 | 61.7% | 59.8% | 57.5% | 57.2%  | 59.5%  | 61.2%  | 65.2%   |
|                    | 増減率 | -     | -4.2% | -4.4% | -2.8%  | 2.7%   | 1.9%   | -       |
| 高齢人口<br>(65歳以上)    | 実数  | 2,223 | 2,486 | 2,913 | 3,215  | 3,412  | 3,498  | 218,897 |
|                    | 構成比 | 14.5% | 16.4% | 19.4% | 21.8%  | 23.5%  | 24.3%  | 16.1%   |
|                    | 増減率 | -     | 11.8% | 17.2% | 10.4%  | 6.1%   | 2.5%   | -       |

年齢不詳は含まない。

資料:国勢調査



## 3) 産業別人口

平成 17 年における本町の産業別人口は、就業構造構成比では第 3 次産業が最も多く 4,012 人 (67.3%)、次いで第 2 次産業が 1,179 人 (19.8%)、第 1 次産業が 768 人 (12.9%) となっている。

産業別人口の推移をみると、第 1 次産業は昭和 60 年以降、実数・構成比ともに減少傾向にあり、平成 17 年には昭和 60 年の約 6 割減となっている。特に、農業就業者数は著しく減少しており、昭和 60 年から 1,194 人、約 63.7% 減少している。

第 2 次産業は、実数・構成比ともに昭和 55 年から平成 2 年に減少し、平成 7 年と平成 12 年は増加したものの、平成 17 年は減少に転じている。

第 3 次産業は、実数・構成比ともに一貫して増加傾向にあり、平成 17 年は昭和 55 年と比較すると約 34% 増となっている。特に、サービス業は、平成 17 年は減少しているものの、それ以外は 5 年ごとに約 200 人増と著しい増加傾向を示しており、平成 17 年の構成比は 32.8% と本町の就業者全体のおおむね 3 分の 1 を占めている。

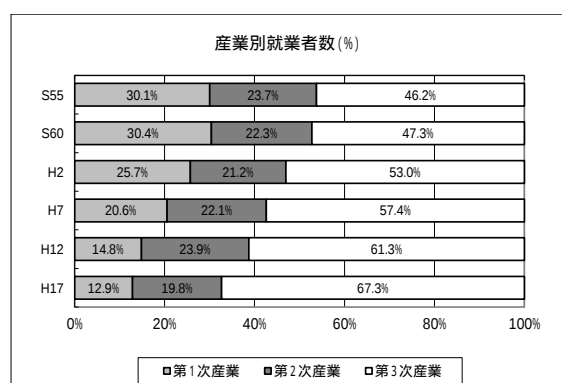
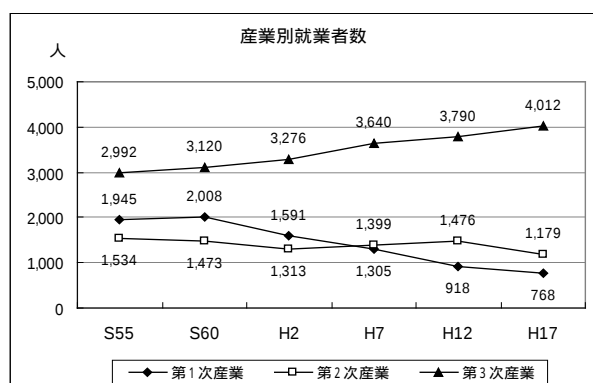
表 産業別就業者数の推移

(単位:人、%)

|               | S55   |       | S60   |       | H2    |       | H7    |       | H12   |       | H17   |       |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|               | 実数    | 構成比   | 実数    | 構成比   | 実数    | 構成比   | 実数    | 構成比   | 実数    | 構成比   | 実数    | 構成比   |
| 農 業           | 1,783 | 27.6  | 1,875 | 28.4  | 1,468 | 23.8  | 1,190 | 18.8  | 820   | 13.3  | 681   | 11.4  |
| 林 業           | 2     | 0.0   | 5     | 0.1   | 1     | 0.0   | 5     | 0.1   | 7     | 0.1   | 4     | 0.1   |
| 水 産 業         | 160   | 2.5   | 128   | 1.9   | 122   | 2.0   | 110   | 1.7   | 91    | 1.5   | 83    | 1.4   |
| 第 1 次 産 業     | 1,945 | 30.1  | 2,008 | 30.4  | 1,591 | 25.7  | 1,305 | 20.6  | 918   | 14.8  | 768   | 12.9  |
| 鉱 業           | 98    | 1.5   | 82    | 1.2   | 26    | 0.4   | 42    | 0.7   | 68    | 1.1   | 12    | 0.2   |
| 建 設 業         | 951   | 14.7  | 955   | 14.5  | 908   | 14.7  | 987   | 15.6  | 1,100 | 17.8  | 849   | 14.2  |
| 製 造 業         | 485   | 7.5   | 436   | 6.6   | 379   | 6.1   | 370   | 5.8   | 308   | 5.0   | 318   | 5.3   |
| 第 2 次 産 業     | 1,534 | 23.7  | 1,473 | 22.3  | 1,313 | 21.2  | 1,399 | 22.1  | 1,476 | 23.9  | 1,179 | 19.8  |
| 卸売・小売業、飲食店    | 1,181 | 18.3  | 1,202 | 18.2  | 1,135 | 18.4  | 1,299 | 20.5  | 1,208 | 19.5  | 1,520 | 25.5  |
| 金融・保険         | 59    | 0.9   | 77    | 1.2   | 62    | 1.0   | 63    | 1.0   | 50    | 0.8   | 56    | 0.9   |
| 不動産業          | 10    | 0.2   | 11    | 0.2   | 11    | 0.2   | 6     | 0.1   | 11    | 0.2   | 21    | 0.4   |
| 運輸・通信業        | 220   | 3.4   | 225   | 3.4   | 228   | 3.7   | 223   | 3.5   | 224   | 3.6   | 228   | 3.8   |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 24    | 0.4   | 29    | 0.4   | 22    | 0.4   | 30    | 0.5   | 25    | 0.4   | 22    | 0.4   |
| サービス業         | 1,255 | 19.4  | 1,379 | 20.9  | 1,589 | 25.7  | 1,793 | 28.3  | 2,025 | 32.7  | 1,954 | 32.8  |
| 公 務           | 243   | 3.8   | 197   | 3.0   | 229   | 3.7   | 226   | 3.6   | 247   | 4.0   | 211   | 3.5   |
| 第 3 次 産 業     | 2,992 | 46.2  | 3,120 | 47.3  | 3,276 | 53.0  | 3,640 | 57.4  | 3,790 | 61.3  | 4,012 | 67.3  |
| 総 数           | 6,471 | 100.0 | 6,601 | 100.0 | 6,180 | 100.0 | 6,344 | 100.0 | 6,184 | 100.0 | 5,959 | 100.0 |
| 分類不能の産業       | 2     | -     | 32    | -     | 2     | -     | 2     | -     | 1     | -     | 16    | -     |

総数に分類不能の産業は含まない。

資料:国勢調査



## 第 章 本部町における現状と課題

### (4) 産業

#### 1) 農業

本町における農業活動の推移をみると、農家戸数、経営耕地面積ともに減少傾向で、平成 17 年にはそれぞれ 342 戸、247ha となっており、平成 2 年の 872 戸、714ha からそれぞれ 6 割以上の減少を示している。また、農業産出額も減少傾向にあり、平成 17 年は 1,800 百万円で、平成 2 年の 3,064 百万円から約 4 割減少している。

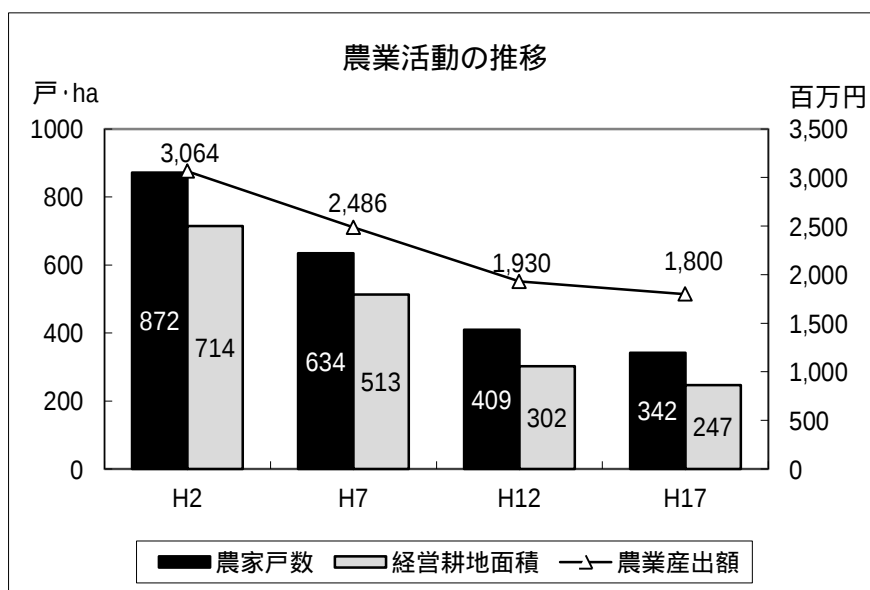
表 農業活動の推移

(単位:戸、ha、ha/戸、%、百万円)

|            | H2    | H7    | H12   | H17   |
|------------|-------|-------|-------|-------|
| 専業農家       | 373   | 273   | 178   | 163   |
| 兼業農家       | 499   | 361   | 231   | 179   |
| 第一種兼業農家    | 260   | 120   | 103   | 75    |
| 第二種兼業農家    | 239   | 241   | 128   | 104   |
| 合 計        | 872   | 634   | 409   | 342   |
| 経営耕地面積     | 714   | 513   | 302   | 247   |
| 一戸当り経営耕地面積 | 0.8   | 0.8   | 0.7   | 0.7   |
| 農業産出額      | 3,064 | 2,486 | 1,930 | 1,800 |

販売農家数のみ記載。

資料:農業関係統計



## 第 章 本部町における現状と課題

### 2) 漁業

本町における漁業経営体の基本構成の推移をみると、漁業経営体数は昭和 48 年の 130 経営体から減少しており、平成 20 年は 49 経営体となっている。

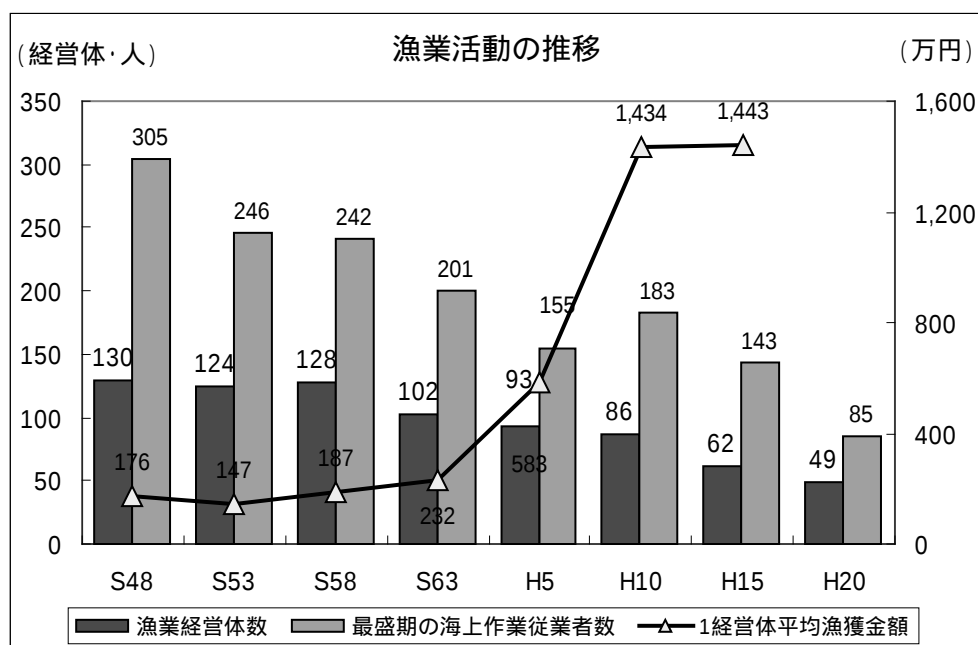
海上作業従業者数も昭和 48 年の 305 人から減少傾向を示しており、平成 20 年は 85 人であり、昭和 48 年から約 7 割減少している。

漁業経営体数は減少しているが、1 経営体平均漁獲額は増加傾向にあり、平成 10 年と平成 15 年においては 1,400 万円を超えている。これは、平成 2 年から行われている本部港（渡久地地区）でのマグロ養殖の影響と考えられる。

表 漁業経営体の基本構成及び自営漁業の専兼業別経営体数 各年11月1日現在

| 衣 漁業経営体の基本構成及び 日 日 漁業の専業業別経営体数 |                |            |    |            |        |       |     |                  |     |       | 個人経営体              |    |                    |     |     |
|--------------------------------|----------------|------------|----|------------|--------|-------|-----|------------------|-----|-------|--------------------|----|--------------------|-----|-----|
| 衣                              | 漁業<br>経営<br>体数 | 総括         |    |            |        |       |     |                  |     | 個人経営体 |                    |    |                    |     |     |
|                                |                | 無動力<br>船隻数 |    | 船外機<br>付隻数 |        | 動力船   |     | 最盛期の海上作<br>業従業者数 |     |       | 1経営体<br>平均漁<br>獲金額 | 総数 | 専業(自<br>営漁業<br>のみ) |     |     |
|                                |                |            |    |            |        |       |     |                  |     |       |                    |    | 兼業                 |     |     |
|                                |                | 経営体        | 隻  | 隻          | 隻      | トン数   | 馬力数 | 総数               | 家族  | 雇用者   | 万円                 |    | 経営体                | 経営体 | 経営体 |
| S48                            | 130            | 20         | 3  | 116        | 367.71 | 1,979 | 305 | 146              | 159 | 176   | -                  | -  | -                  | -   |     |
| S53                            | 124            | 1          | 12 | 118        | 324.33 | 2,249 | 246 | 129              | 117 | 147   | 120                | 40 | 66                 | 14  |     |
| S58                            | 128            | 17         | 22 | 106        | 310.95 | 2,398 | 242 | 178              | 64  | 187   | 125                | 38 | 31                 | 56  |     |
| S63                            | 102            | 1          | 45 | 75         | 268.72 | 2,201 | 201 | 152              | 49  | 232   | 99                 | 11 | 36                 | 52  |     |
| H5                             | 93             | 1          | 13 | 89         | 231.12 | 2,897 | 155 | 100              | 55  | 583   | 92                 | 16 | 27                 | 49  |     |
| H10                            | 86             | 0          | 15 | 82         | 239.12 | 3,309 | 183 | 93               | 90  | 1,434 | 83                 | 30 | 26                 | 27  |     |
| H15                            | 62             | 0          | 24 | 60         | 236.15 | 3,224 | 143 | 65               | 78  | 1,443 | 59                 | 19 | 22                 | 18  |     |
| H20                            | 49             | 0          | 18 | 45         | 211.2  |       | 85  | 40               | 45  |       | 47                 | 28 | 6                  | 13  |     |

資料：漁業センサス



## 第 章 本部町における現状と課題

### 3) 商業

本町における商業活動の推移をみると、商店数は昭和 63 年から減少傾向を示しており、平成 19 年には 246 店となり、昭和 63 年から 145 店減少している。

従業者数は、増減を繰り返しているが、平成 19 年には 747 人となり、昭和 63 年から 190 人減少している。

商品販売額は、増減はあるが概ね増加傾向を示している。平成 19 年には約 85 億円となり、昭和 57 年から約 34 億円増加している。

表 商業活動の推移

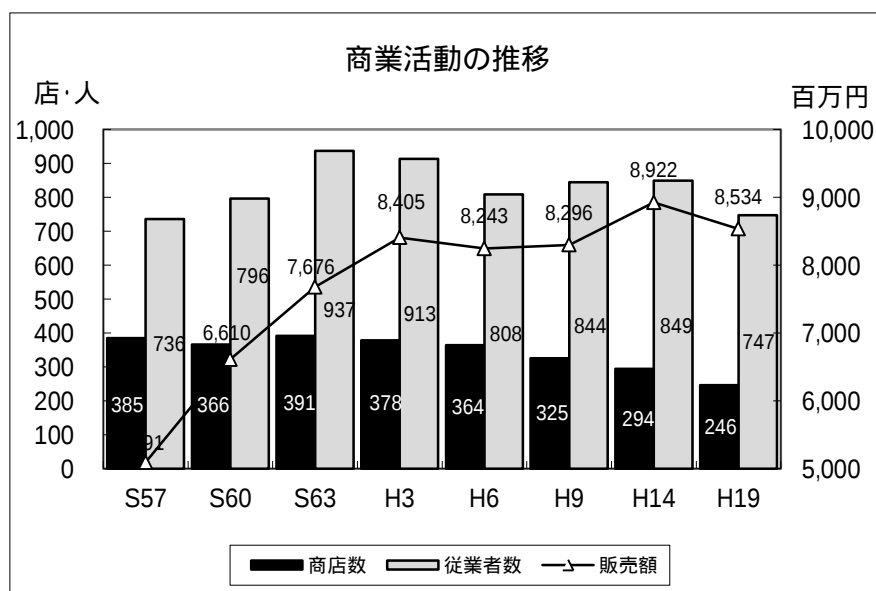
(単位:店、人、百万円、%)

|     | S57                               | S60                               | S63                               | H3                                | H6                                | H9                                | H14                               | H19                               |
|-----|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 商店数 | 卸売業 26<br>小売業 359<br>計 385        | 卸売業 22<br>小売業 344<br>計 366        | 卸売業 27<br>小売業 364<br>計 391        | 卸売業 27<br>小売業 351<br>計 378        | 卸売業 27<br>小売業 337<br>計 364        | 卸売業 30<br>小売業 295<br>計 325        | 卸売業 30<br>小売業 264<br>計 294        | 卸売業 18<br>小売業 228<br>計 246        |
| 従業者 | 卸売業 100<br>小売業 636<br>計 736       | 卸売業 89<br>小売業 707<br>計 796        | 卸売業 104<br>小売業 833<br>計 937       | 卸売業 97<br>小売業 816<br>計 913        | 卸売業 85<br>小売業 723<br>計 808        | 卸売業 125<br>小売業 719<br>計 844       | 卸売業 150<br>小売業 699<br>計 849       | 卸売業 81<br>小売業 666<br>計 747        |
| 販売額 | 卸売業 1,319<br>小売業 3,772<br>計 5,091 | 卸売業 1,834<br>小売業 4,776<br>計 6,610 | 卸売業 2,196<br>小売業 5,480<br>計 7,676 | 卸売業 2,411<br>小売業 5,995<br>計 8,405 | 卸売業 1,919<br>小売業 6,324<br>計 8,243 | 卸売業 3,311<br>小売業 4,986<br>計 8,296 | 卸売業 3,404<br>小売業 5,518<br>計 8,922 | 卸売業 1,578<br>小売業 6,956<br>計 8,534 |

飲食店を除いた数値。

資料:沖縄県の商業、商業統計調査

調査期日:S57年6月1日、S60年5月1日、S63年6月1日、H3年7月1日、H6年7月1日、H9年6月1日、H14年6月1日、H19年6月1日。本調査はH9年以降から5年毎に実施。ただし、年間商品販売額は、調査期日前1ヶ年間である。



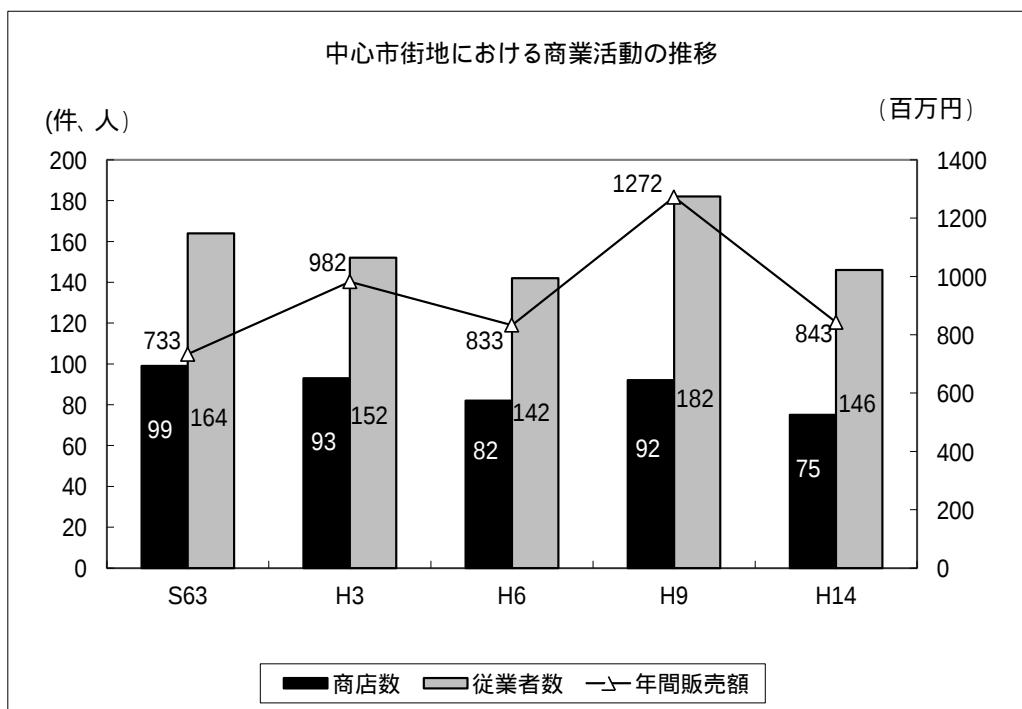
4) 中心商店街の状況

本町の中心商店街における商業活動の推移をみると、昭和 63 年には、99 件あった店舗数が、平成 14 年においては 75 件と 24 件減少している。また、従業者数も昭和 63 年の 164 人から、平成 14 年には、146 人と 18 人減少している。年間販売額については、増減を繰り返している。

■ 中心商店街における商業活動の推移

|             | S63   | H3    | H6    | H9    | H14   |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 商店数         | 99    | 93    | 82    | 92    | 75    |
| 従業者数 (人)    | 164   | 152   | 142   | 182   | 146   |
| 年間販売額 (百万円) | 733   | 982   | 833   | 1,272 | 843   |
| 売場面積 (㎡)    | 2,838 | 2,820 | 2,591 | 3,472 | 2,753 |

資料: 商業統計(立地環境特性別統計表)



注)「中心商店街」とは商業統計における「商業集積地」とする。また、平成 16 年商業統計においては、本町内に「商業集積地」は位置づけられていない。

## 第 章 本部町における現状と課題

### 5) 工業

本町における工業活動の推移をみると、事業所数は平成7年から平成20年まで35～40事業所程度のほぼ横ばいで推移しており、平成20年は39事業所となっている。

従業者数は、増減を繰り返している。平成20年は315人となっており、平成17年の335人から20人減少している。

出荷額は、増減はあるものの概ね増加傾向である。平成20年は約65億円と平成17年の約59億円から約6億円増加している。

表 工業活動の推移

(単位:事業所、人、万円)

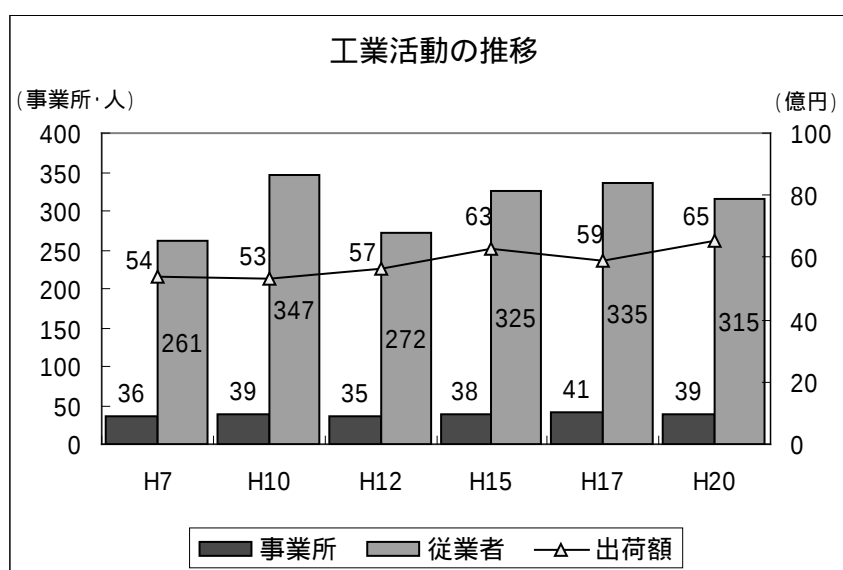
|               | H7  |     |         | H10 |     |         | H12 |     |         | H15 |     |         | H17 |     |         | H20 |     |         |
|---------------|-----|-----|---------|-----|-----|---------|-----|-----|---------|-----|-----|---------|-----|-----|---------|-----|-----|---------|
|               | 事業所 | 従業者 | 出荷額     | 事業所 | 従業者 | 出荷額     | 事業所 | 従業者 | 出荷額     | 事業所 | 従業者 | 出荷額     | 事業所 | 従業者 | 出荷額     | 事業所 | 従業者 | 出荷額     |
| 食料品製造業        | 18  | 58  | 22,816  | 20  | 77  | 51,555  | 16  | 77  | 77,867  | 18  | 121 | 116,417 | 20  | 133 | 65,211  | 20  | 122 | 106,553 |
| パイナップル缶詰      | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| 砂糖            | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| 飲料・たばこ・飼料     | 2   | x   | x       | 2   | x   | x       | 2   | x   | x       | 2   | x   | x       | 2   | 33  | x       | 2   | 33  | x       |
| 繊維(工業)        | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | 1   | 2   | x       |
| 衣服・その他の繊維製品   | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| 木材・木製品(家具を除く) | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| 家具・装備品        | 1   | x   | x       | 1   | x   | x       | -   | -   | -       | 1   | x   | x       | -   | -   | -       | 1   | 2   | x       |
| パルプ・紙・紙加工品    | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| 印刷・関連産業(出版)   | 1   | x   | x       | 1   | x   | x       | 1   | x   | x       | 1   | x   | x       | 1   | 4   | x       | 1   | 3   | x       |
| 化学工業          | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| 石油製品・石炭製品     | 1   | x   | x       | 1   | x   | x       | 1   | x   | x       | 1   | x   | x       | 1   | 7   | x       | 1   | 7   | x       |
| プラスチック製品      | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| ゴム製品          | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| なめし革・同製品・毛皮   | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| 窯業・土石製品       | 7   | 119 | 344,762 | 7   | 171 | 277,853 | 8   | 100 | 274,759 | 7   | 104 | 281,743 | 9   | 104 | 246,831 | 7   | 97  | 253,256 |
| 鉄鋼業           | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| 非鉄金属          | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| 金属製品          | 3   | x   | x       | 5   | 47  | 50,523  | 3   | x   | x       | 5   | 49  | 52,910  | 5   | 45  | 54,756  | 4   | 44  | 67,659  |
| 一般機械器具        | -   | -   | -       | -   | -   | -       | 1   | x   | x       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| 電気機械器具        | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| 情報通信機械器具      | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| 電子部品・デバイス     | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| 輸送用機械器具       | 1   | x   | x       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| 精密機械器具        | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       | -   | -   | -       |
| その他の製造業       | 2   | x   | x       | 2   | x   | x       | 3   | 7   | 2,818   | 3   | 7   | 3,612   | 3   | 9   | 2,384   | -   | 5   | x       |
| 合 計           | 36  | 261 | 540,009 | 39  | 347 | 534,185 | 35  | 272 | 565,529 | 38  | 325 | 630,674 | 41  | 335 | 586,612 | 39  | 315 | 651,075 |

秘匿の必要がある場合は「x」で表示。

平成14年3月の日本標準産業分類の改訂により、「出版業」は「情報通信業」に移行され、工業統計調査の対象外となった。

また、「電気機械器具」は「電気機械器具」、「情報通信機械器具」、「電子部品・デバイス」の3つに分割され、「武器製造業」は「その他の製造業」に統合された。

資料:沖縄県の工業



( 5 ) 土地利用状況

1 ) 土地利用

本町の平成 17 年における土地利用状況は、山林が 2,344.4ha ( 43.2% ) と最も広く、次に農地が 1,473.4ha ( 27.1% ) 、その他の自然地が 658.3ha ( 12.1% ) 、宅地が 562.5ha ( 10.4% ) と続く。

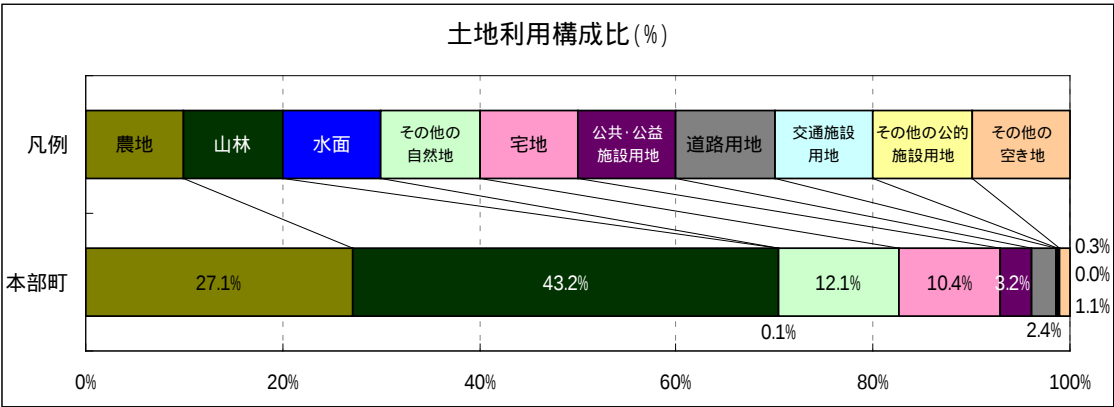
自然的土地利用と都市的土地利用についてみると、自然的土地利用が 4,483.3ha ( 82.6% ) と 8 割強を占め、都市的土地利用が 946.7ha ( 17.4% ) と 2 割弱を占める。

地目別民有地面積の推移をみると、宅地は増加傾向だが、畑及び原野は減少傾向である。特に原野は、昭和 50 年の 2,549.1ha から平成 19 年は 2,224.8ha となり、約 324ha 減少している。原野の減少により、本部町の緑が減少していることがうかがえる。

原野とは、「耕作の方法によらないで雑草、かん木類の生育する土地（不動産登記事務取扱手続準則第 68 条 11 号）」と定義され、主として農地としての利用には適していない等の理由で、人の手が加えられずに雑草やかん木類が生えたままの状態で長年放置されてきた土地を指す。

| 自然的土地利用 |         |         |         |        |             | 都市的土地利用 |          |          |          |        |             |          |                |                |            | 合<br>計 | 可<br>住<br>地 | 非<br>可<br>住<br>地 |         |
|---------|---------|---------|---------|--------|-------------|---------|----------|----------|----------|--------|-------------|----------|----------------|----------------|------------|--------|-------------|------------------|---------|
| 農 地     |         | 小<br>計  | 山<br>林  | 水<br>面 | その他の自然<br>地 | 小<br>計  | 宅 地      |          |          |        | 公共・公益<br>用地 | 道路<br>用地 | 交通<br>施設<br>用地 | 公的<br>施設<br>用地 | その他の<br>空地 |        |             |                  | 小<br>計  |
| 田       | 畑       |         |         |        |             |         | 住宅<br>用地 | 商業<br>用地 | 工業<br>用地 | 小<br>計 |             |          |                |                |            |        |             |                  |         |
| 0.0     | 1,473.4 | 1,473.4 | 2,344.4 | 7.2    | 658.3       | 4,483.3 | 362.9    | 181.5    | 18.1     | 562.5  | 174.9       | 129.2    | 17.2           | 1.7            | 61.2       | 946.7  | 5,430.0     | 4,295.3          | 1,134.7 |
| 0.0%    | 27.1%   | 27.1%   | 43.2%   | 0.1%   | 12.1%       | 82.6%   | 6.7%     | 3.3%     | 0.3%     | 10.4%  | 3.2%        | 2.4%     | 0.3%           | 0.0%           | 1.1%       | 17.4%  | 100.0%      | 79.1%            | 20.9%   |

資料:平成18年 都市計画基礎調査  
数値は土地利用現況図より求積した。そのため町全面積と誤差が生じたが、誤差分は、それぞれの分類項目の割合で調整した。  
非可住地は「商業用地」の内で敷地面積1ha以上の大規模施設用地、「水面」、「その他の自然地」、「公共・公益用地」、「道路用地」、「その他公的施設用地」これらの他、土地利用状況に関係なく全ての工業専用地域。



## 第 章 本部町における現状と課題

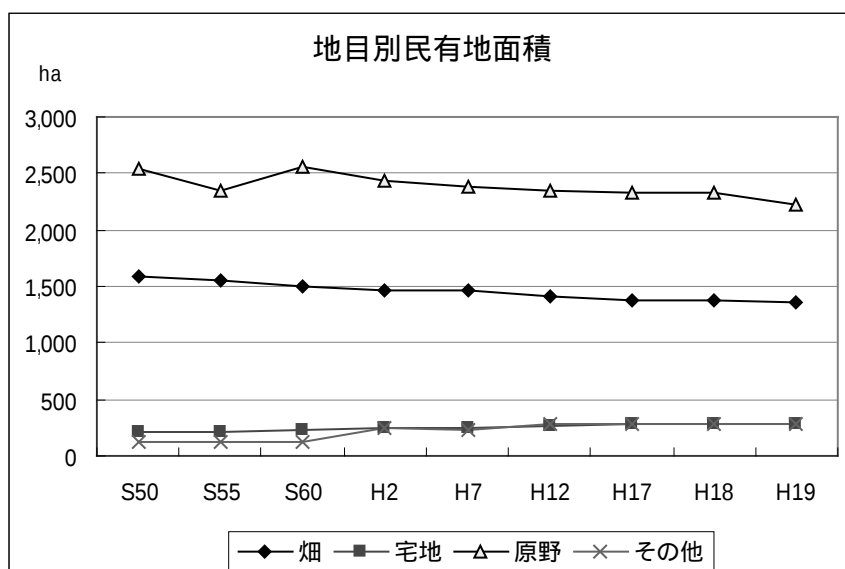
表 地目別民有地面積

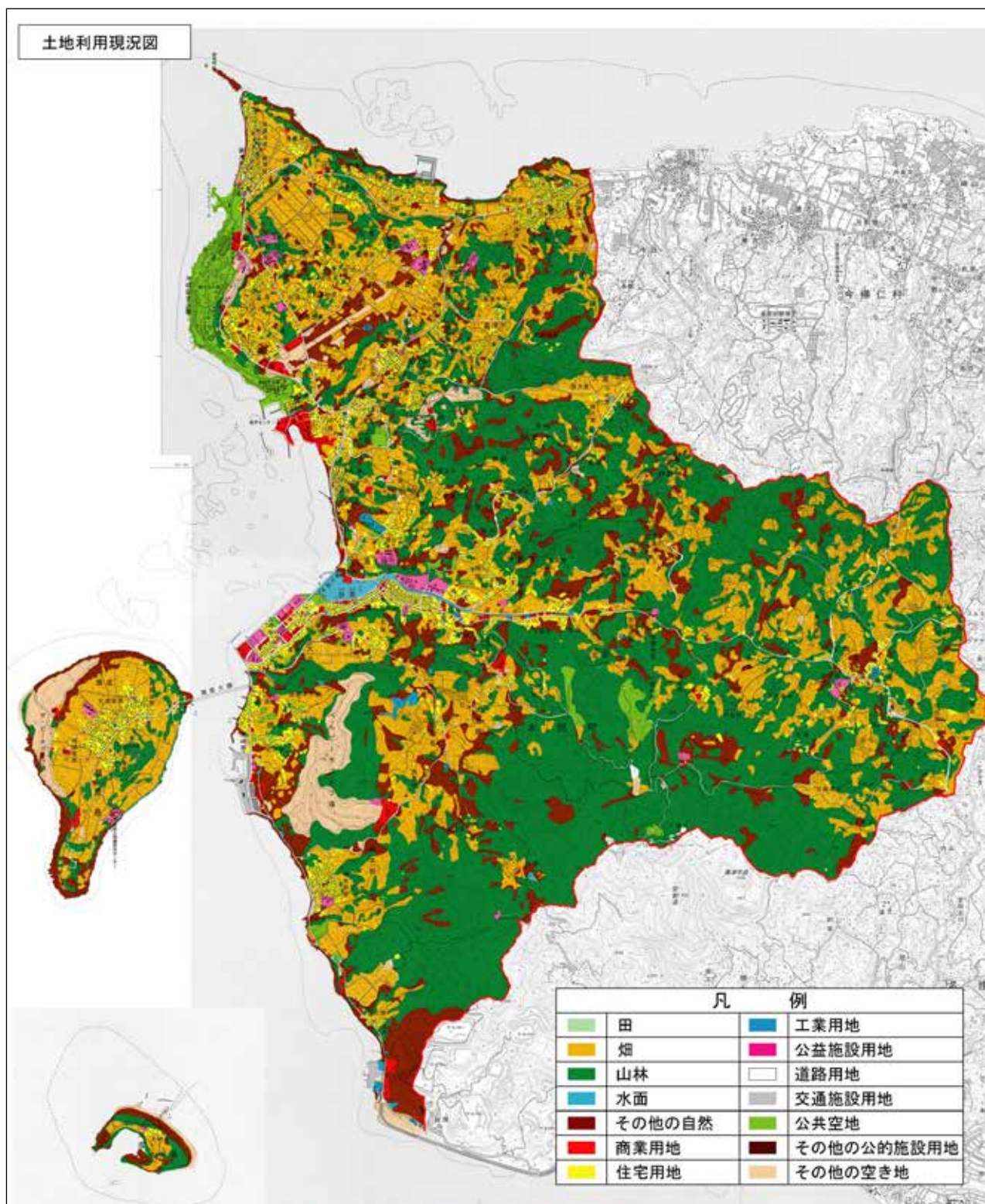
(単位: ha、%)

|     | 総 数     | 畑       |       | 宅地    |      | 原野      |       | その他<br>(池沼、牧場、雑種地等) |      |
|-----|---------|---------|-------|-------|------|---------|-------|---------------------|------|
|     |         |         | 構成比   |       | 構成比  |         | 構成比   |                     | 構成比  |
| S50 | 4,465.2 | 1,588.2 | 35.6% | 205.3 | 4.6% | 2,549.1 | 57.1% | 122.5               | 2.7% |
| S55 | 4,237.5 | 1,549.6 | 36.6% | 218.5 | 5.2% | 2,341.4 | 55.3% | 128.0               | 3.0% |
| S60 | 4,391.9 | 1,495.6 | 34.1% | 225.6 | 5.1% | 2,551.0 | 58.1% | 119.7               | 2.7% |
| H2  | 4,391.3 | 1,473.4 | 33.6% | 241.6 | 5.5% | 2,436.2 | 55.5% | 240.0               | 5.5% |
| H7  | 4,336.7 | 1,464.0 | 33.8% | 250.6 | 5.8% | 2,386.7 | 55.0% | 235.5               | 5.4% |
| H12 | 4,309.0 | 1,417.6 | 32.9% | 265.9 | 6.2% | 2,350.7 | 54.6% | 274.9               | 6.4% |
| H17 | 4,263.3 | 1,383.2 | 32.4% | 275.8 | 6.5% | 2,330.7 | 54.7% | 273.7               | 6.4% |
| H18 | 4,252.9 | 1,372.6 | 32.3% | 276.0 | 6.5% | 2,329.3 | 54.8% | 274.9               | 6.5% |
| H19 | 4,140.1 | 1,362.7 | 32.9% | 275.4 | 6.7% | 2,224.8 | 53.7% | 277.3               | 6.7% |

各年1月1日現在

資料: 沖縄県統計年鑑





# 第 章 本部町における現状と課題

| 地区別土地利用現況  |     |         |         |         |        |        |             |        |                  | 自然的土地利用          |                  |       |             |        |            |                |        |        |         | 都市的土地利用           |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 単位:ha |
|------------|-----|---------|---------|---------|--------|--------|-------------|--------|------------------|------------------|------------------|-------|-------------|--------|------------|----------------|--------|--------|---------|-------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-------|
| 字<br><br>名 | 農地  |         |         | 小<br>計  | 山<br>林 | 水<br>面 | その他の自然<br>地 | 小<br>計 | 宅地               |                  |                  |       | 公共・公益<br>用地 | 道<br>路 | 交通施設<br>用地 | その他の公益<br>施設用地 | その他の空地 | 小<br>計 | 合<br>計  | 非<br>可<br>住<br>地  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
|            | 田   | 畑       |         |         |        |        |             |        | 住<br>宅<br>用<br>地 | 商<br>業<br>用<br>地 | 工<br>業<br>用<br>地 |       |             |        |            |                |        |        |         |                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 謝花         | --- | 143     | 143     | 120     | 0.0    | 35     | 298         | 82     | 02               | 01               | 85               | 07    | 16          | 00     | 00         | 00             | 06     | 11.4   | 41.2    | 58                |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 北里         | --- | 71.4    | 71.4    | 31.6    | 0.0    | 169    | 1199        | 112    | 02               | 00               | 114              | 70    | 48          | 00     | 00         | 00             | 29     | 26.1   | 1460    | 287               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 嘉津宇        | --- | 35.9    | 35.9    | 57.5    | 0.0    | 7.8    | 101.2       | 70     | 02               | 00               | 72               | 01    | 26          | 00     | 00         | 00             | 00     | 9.9    | 111.1   | 105               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 眞志堅        | --- | 83.1    | 83.1    | 64.1    | 0.0    | 27.7   | 174.9       | 21.5   | 09               | 04               | 22.8             | 02    | 49          | 00     | 00         | 00             | 29     | 30.8   | 205.7   | 32.8              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 新里         | --- | 38.3    | 38.3    | 22.5    | 0.0    | 5.5    | 66.3        | 12.1   | 05               | 01               | 12.7             | 02    | 30          | 38     | 00         | 00             | 09     | 20.6   | 86.9    | 12.5              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 備瀬         | --- | 71.4    | 71.4    | 16.6    | 0.0    | 124    | 100.4       | 20.8   | 1.8              | 01               | 22.7             | 14.3  | 5.6         | 01     | 00         | 00             | 1.3    | 44.0   | 144.4   | 33.0              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 石川         | --- | 27.2    | 27.2    | 13.7    | 0.0    | 7.2    | 48.1        | 9.6    | 2.9              | 00               | 12.5             | 23.9  | 00          | 00     | 00         | 00             | 4.7    | 41.1   | 89.2    | 33.1              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 山川         | --- | 20.6    | 20.6    | 16.0    | 0.1    | 5.3    | 42.0        | 19.8   | 6.2              | 00               | 26.0             | 44.5  | 5.6         | 02     | 00         | 00             | 9.2    | 85.5   | 127.5   | 55.7              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 豊原         | --- | 36.6    | 36.6    | 8.0     | 0.0    | 30.8   | 75.4        | 7.2    | 01               | 05               | 7.8              | 00    | 2.8         | 00     | 00         | 00             | 8.0    | 18.6   | 94.0    | 33.6              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 並里         | --- | 88.4    | 88.4    | 27.7    | 0.6    | 52.7   | 419.4       | 12.1   | 1.8              | 08               | 14.7             | 22.1  | 7.7         | 00     | 00         | 00             | 1.5    | 46.0   | 465.4   | 83.1              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 伊野波        | --- | 72.9    | 72.9    | 159.4   | 0.7    | 49.0   | 282.0       | 15.5   | 3.3              | 05               | 19.3             | 1.7   | 4.4         | 03     | 00         | 00             | 1.6    | 27.3   | 309.3   | 58.1              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 山里         | --- | 44.9    | 44.9    | 121.7   | 0.0    | 38.5   | 205.1       | 9.9    | 00               | 03               | 10.2             | 0.8   | 4.9         | 00     | 00         | 00             | 2.8    | 18.7   | 223.8   | 44.2              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 野原         | --- | 28.3    | 28.3    | 13.2    | 0.0    | 3.8    | 45.3        | 8.8    | 02               | 00               | 9.0              | 2.1   | 1.1         | 00     | 00         | 00             | 1.1    | 13.3   | 58.6    | 7.0               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 浜元         | --- | 18.0    | 18.0    | 12.6    | 0.2    | 5.0    | 35.8        | 11.4   | 11.6             | 01               | 23.1             | 4.1   | 4.6         | 00     | 00         | 00             | 0.3    | 32.1   | 67.9    | 24.4              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 浦崎         | --- | 23.1    | 23.1    | 21.0    | 0.1    | 6.1    | 50.3        | 10.0   | 0.2              | 01               | 10.3             | 0.2   | 3.4         | 00     | 00         | 00             | 2.4    | 16.3   | 66.6    | 9.8               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 古島         | --- | 15.4    | 15.4    | 48.9    | 0.2    | 7.3    | 71.8        | 6.0    | 2.2              | 00               | 20.1             | 0.1   | 2.2         | 00     | 00         | 00             | 12.5   | 23.0   | 94.8    | 22.9              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 大堂         | --- | 32.0    | 32.0    | 54.3    | 0.3    | 5.4    | 92.0        | 4.5    | 00               | 00               | 4.5              | 00    | 2.0         | 00     | 00         | 00             | 0.0    | 6.5    | 98.5    | 7.7               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 辺名地        | --- | 73.1    | 73.1    | 170.7   | 0.6    | 54.6   | 299.0       | 12.6   | 0.6              | 07               | 13.9             | 0.4   | 4.0         | 01     | 0.7        | 0.1            | 0.1    | 19.2   | 318.2   | 60.4              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 大浜         | --- | 13.8    | 13.8    | 11.0    | 0.5    | 4.5    | 29.8        | 11.7   | 5.3              | 00               | 17.0             | 9.0   | 8.2         | 02     | 00         | 00             | 0.2    | 34.6   | 64.4    | 25.1              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 谷茶         | --- | 2.4     | 2.4     | 0.0     | 0.0    | 5.0    | 7.4         | 6.8    | 1.3              | 05               | 8.6              | 7.4   | 3.2         | 08     | 00         | 00             | 0.0    | 20.0   | 27.4    | 16.4              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 渡久地        | --- | 12.0    | 12.0    | 12.2    | 2.0    | 11.5   | 37.7        | 13.7   | 2.5              | 2.6              | 18.8             | 11.1  | 6.1         | 03     | 00         | 00             | 0.8    | 37.1   | 74.8    | 31.4              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 東          | --- | 5.2     | 5.2     | 5.3     | 1.8    | 7.9    | 20.2        | 13.1   | 0.6              | 0.6              | 14.3             | 4.4   | 2.3         | 01     | 00         | 00             | 0.0    | 21.1   | 41.3    | 16.5              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 大嘉陽        | --- | 37.6    | 37.6    | 160.3   | 0.0    | 23.2   | 221.1       | 4.2    | 0.1              | 0.6              | 4.9              | 1.9   | 3.9         | 00     | 00         | 1.0            | 1.7    | 13.4   | 234.5   | 30.0              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 瀬底         | --- | 145.6   | 145.6   | 70.1    | 0.0    | 50.1   | 265.8       | 31.9   | 2.6              | 0.4              | 66.0             | 4.1   | 4.2         | 00     | 00         | 0.0            | 34.2   | 77.4   | 343.2   | 91.0              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 崎本部        | --- | 82.3    | 82.3    | 266.8   | 0.0    | 96.4   | 445.5       | 20.9   | 10.3             | 3.6              | 81.2             | 6.7   | 13.5        | 11.2   | 00         | 0.0            | 58.1   | 124.3  | 569.8   | 177.4             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 健堅         | --- | 64.5    | 64.5    | 74.2    | 0.1    | 24.6   | 163.4       | 18.6   | 2.1              | 4.1              | 56.3             | 4.2   | 2.8         | 01     | 00         | 0.0            | 32.3   | 64.2   | 227.6   | 64.5              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 伊豆味        | --- | 315.1   | 315.1   | 623.0   | 0.0    | 95.6   | 1033.7      | 33.8   | 2.9              | 2.0              | 38.7             | 3.7   | 19.8        | 00     | 00         | 0.0            | 2.0    | 64.2   | 1097.9  | 119.1             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
| 合 計        |     | 1,473.4 | 1,473.4 | 2,344.4 | 7.2    | 658.3  | 4,483.3     | 362.9  | 60.6             | 18.1             | 562.5            | 174.9 | 129.2       | 17.2   | 1.7        | 5,430.0        | 182.1  | 96.7   | 5,430.0 | 1,134.7           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |
|            |     |         |         |         |        |        |             |        |                  |                  |                  |       |             |        |            |                |        |        |         | 資料:平成18年 都市計画基礎調査 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |       |

資料:平成18年 都市計画基礎調査

## 第 章 本部町における現状と課題

### 2) 土地利用規制

本町全域が本部都市計画区域であり、面積は約 5,430ha（平成 17 年国勢調査）である。また、沖縄県内で唯一用途地域が指定されていない都市計画区域である。

建築基準法の規定に基づく白地地域の建築形態規制区域として、特殊基準区域（大浜、谷茶、渡久地、東区域（容積率/建ぺい率：200/70、面積：143.9ha） 備瀬区域（容積率/建ぺい率：100/60、面積：69.1ha））と一般基準適用区域（特殊基準区域を除く用途地域の指定のない区域全域（容積率/建ぺい率：200/60、面積：5,217.0ha））が指定されている。

農業振興地域に関する法律（農振法）に基づく農業振興地域として 4,420ha が指定され、うち農用地が 1,698ha となっている。

森林法に基づく地域森林計画対象民有地 2,092ha、保安林 106ha が指定されている。

また、自然公園法に基づく自然公園地域として、沖縄海岸国定公園 658ha が指定されている。

急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律（急傾斜地法）に基づく急傾斜地崩壊危険区域が 5.3ha 指定されている。

表 都市計画法による区域区分 (単位:ha)

| 都市計画区域   | 用途地域指定 | 用途地域指定外 |
|----------|--------|---------|
| 最終決定年月日  | 面積     | 区域面積    |
| S48.9.10 | 5,430  | -       |
|          |        | 5,430   |

資料:平成17年 国勢調査  
単位:ha

表 急傾斜地崩壊危険区域の指定状況

| 区域名    | 指定面積 | 指定年月日      |
|--------|------|------------|
| 大浜     | 0.9  | 平成10年2月10日 |
| 東      | 6.0  | 平成10年2月10日 |
| 東(3)   | 1.0  | 平成18年2月21日 |
| 谷茶     | 1.5  | 平成13年2月13日 |
| 伊豆味    | 0.1  | 平成15年6月17日 |
| 渡久地    | 0.9  | 平成16年6月1日  |
| 渡久地(3) | 0.6  | 平成18年5月30日 |
| 合 計    | 10.9 |            |

資料:沖縄県海岸防災課

表 農振法による農振・農用地区域 (単位:ha)

| 農業振興地域   | 農用地区域 |
|----------|-------|
| 指定年月日    | 面積    |
| S51.2.2  | 4,420 |
| S52.3.30 | 1,698 |

資料:平成17年 沖縄県土地利用規制現況図説明書

表 森林法による地域森林計画対象民有林及び保安林 (単位:ha、%)

| 本部町(A) | 沖縄県(B) | A/B     |
|--------|--------|---------|
| 対象民有林  | 保安林    | 対象民有林   |
| 2,092  | 106    | 105,037 |
|        |        | 12,556  |
|        |        | 2.0     |
|        |        | 0.8     |

資料:平成17年 沖縄県土地利用規制現況図説明書

表 自然公園法による自然公園地域 (単位:ha)

| 表 自然公園法による自然公園地域 |        |      |       |       |       |       |        |        |        |
|------------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 公園名              |        | 陸 域  |       |       |       |       |        | 海域     | 合計     |
|                  |        | 特別   | 第1種   | 第2種   | 第3種   | 普通地域  | 計      |        |        |
|                  |        | 保護地区 | 特別地域  | 特別地域  | 特別地域  |       |        |        |        |
| 沖縄海岸<br>国定公園     | 本部町(A) | 32   | 79    | 64    | 179   | 304   | 658    | -      | 658    |
|                  | 沖縄県(B) | 718  | 353   | 3,168 | 3,093 | 2,954 | 10,286 | 26,173 | 36,459 |
|                  | A / B  | 4.5% | 22.4% | 2.0%  | 5.8%  | 10.3% | 6.4%   | 0.0%   | 1.8%   |

平成20年4月1日現在

資料:沖縄県自然保護課

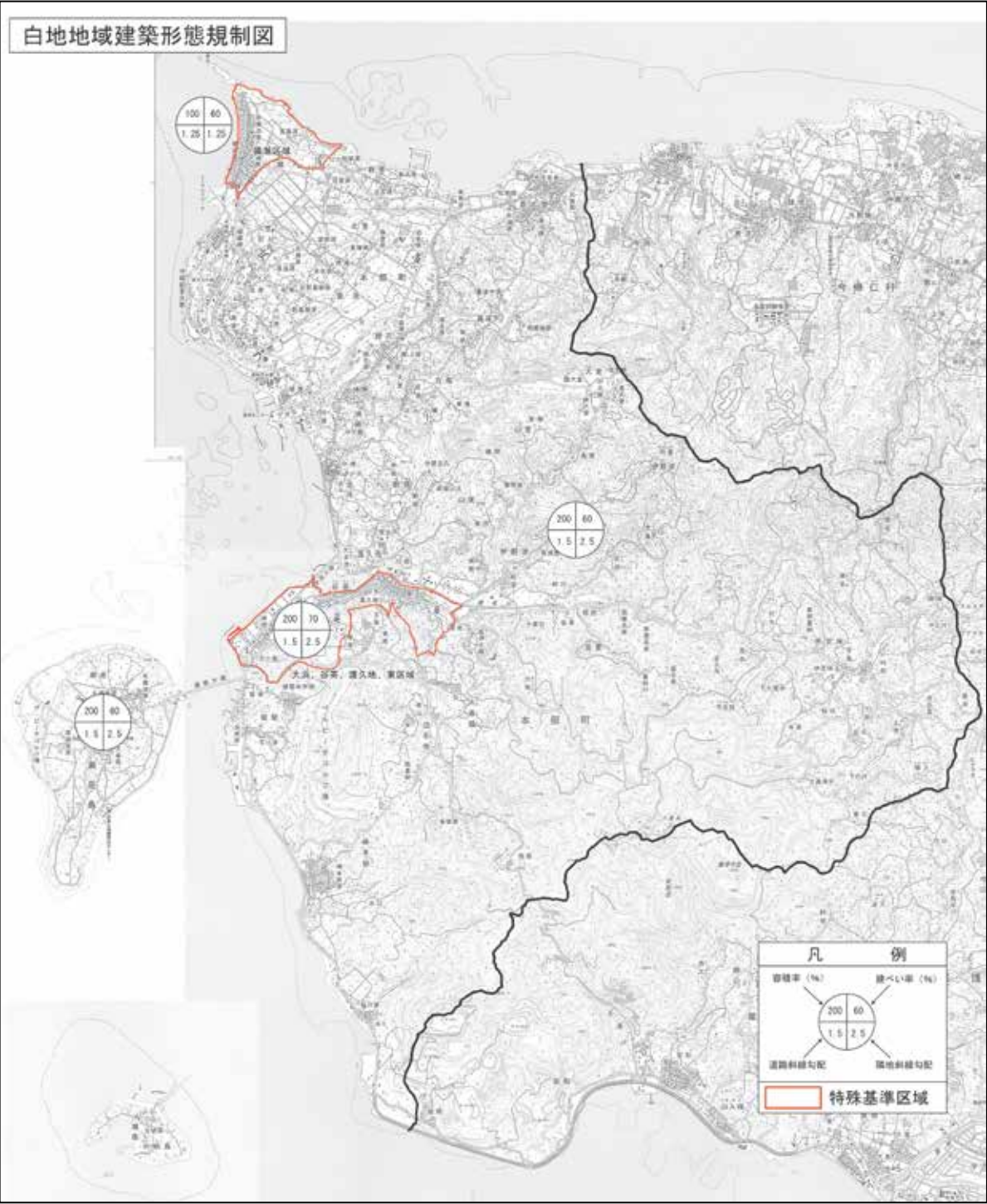
第 章 本部町における現状と課題

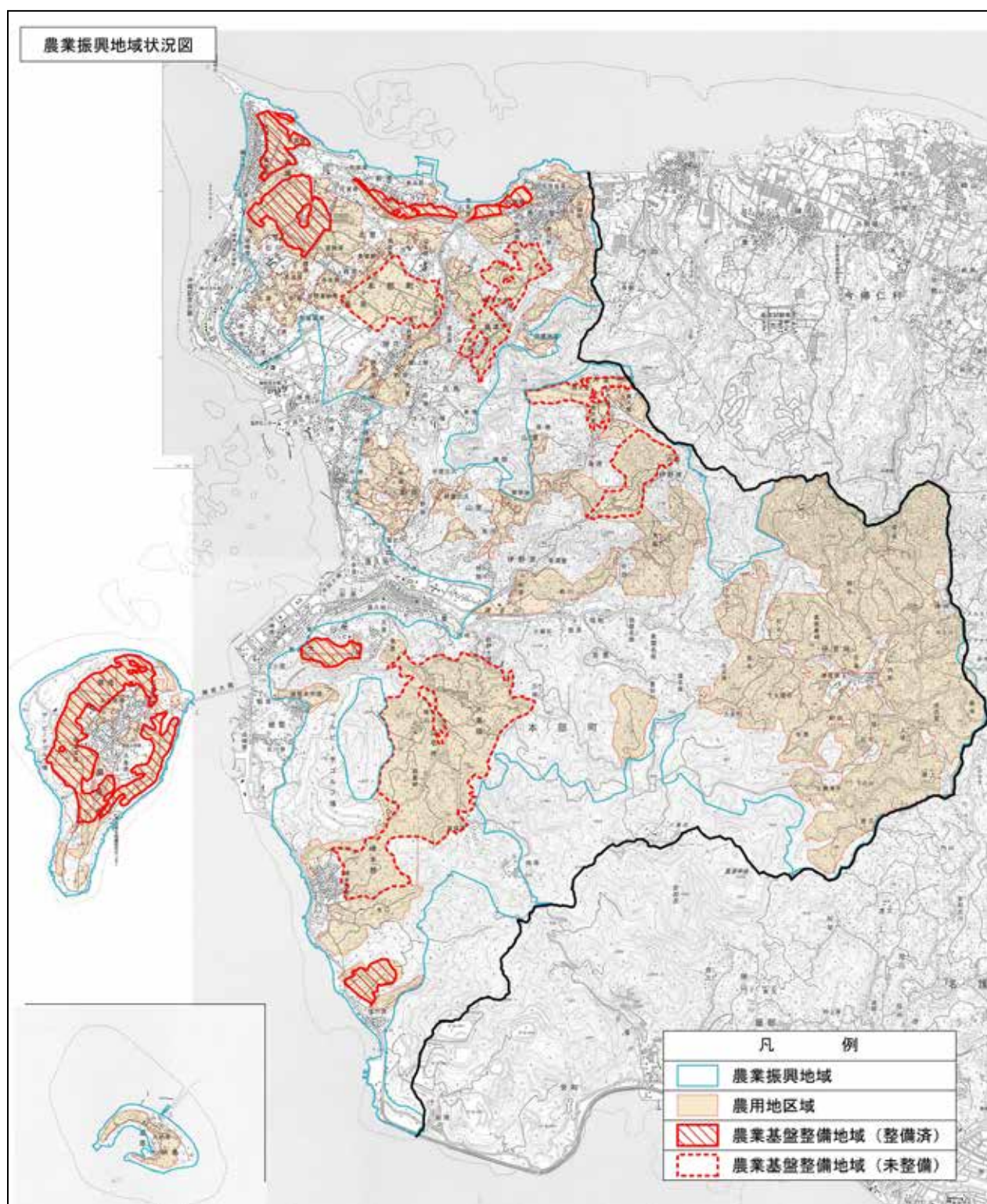
表 白地地域の建築形態規制の区域区分

(単位:ha)

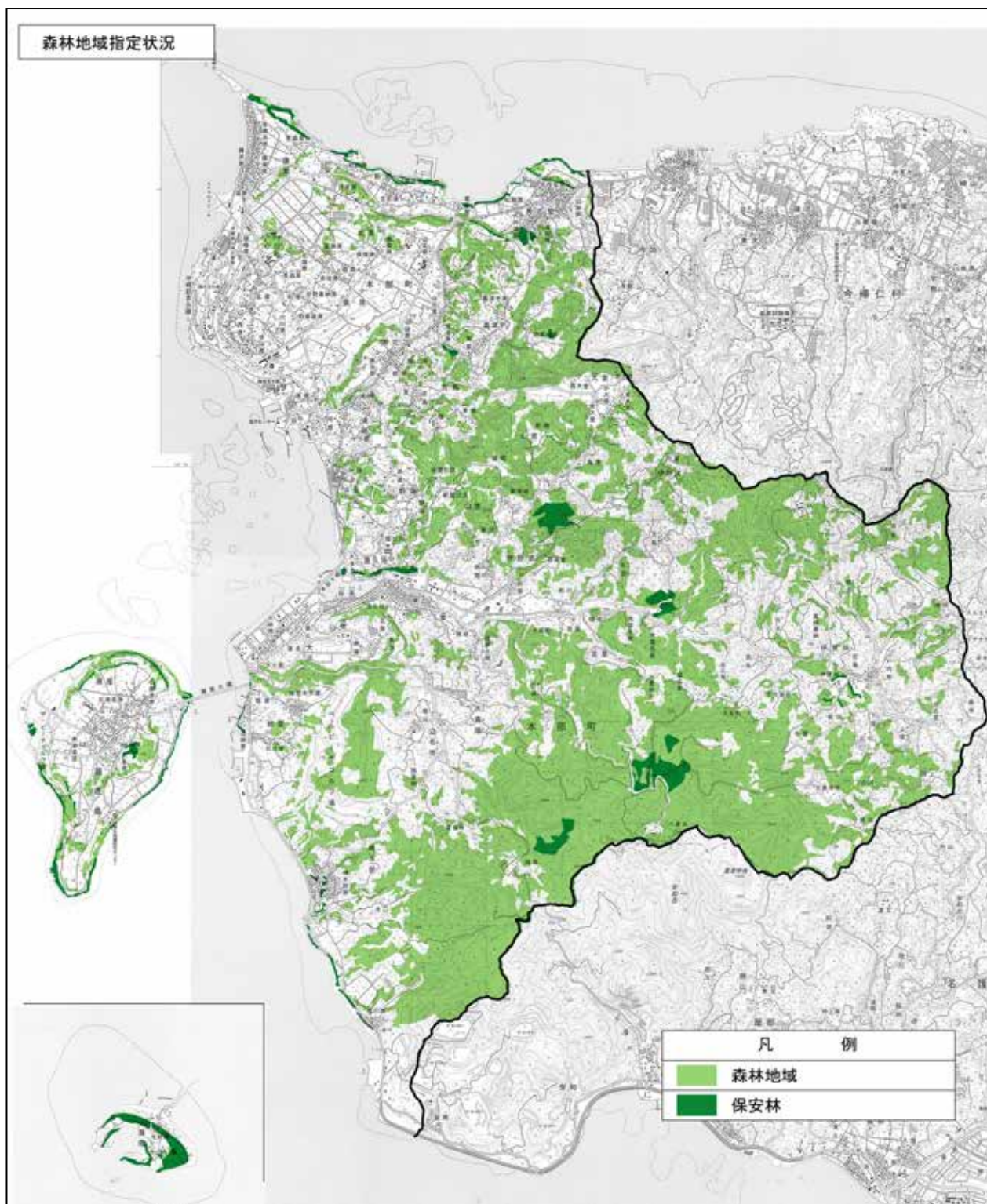
|          | 区 域 名               | 容積率/建ぺい率 | 面積      |
|----------|---------------------|----------|---------|
| 特殊基準区域   | 大浜、谷茶、渡久地、東区域       | 200/70   | 143.9   |
|          | 備瀬区域                | 100/60   | 69.1    |
| 一般基準適用区域 | 上記を除く用途地域の指定のない区域全域 | 200/60   | 5,217.0 |

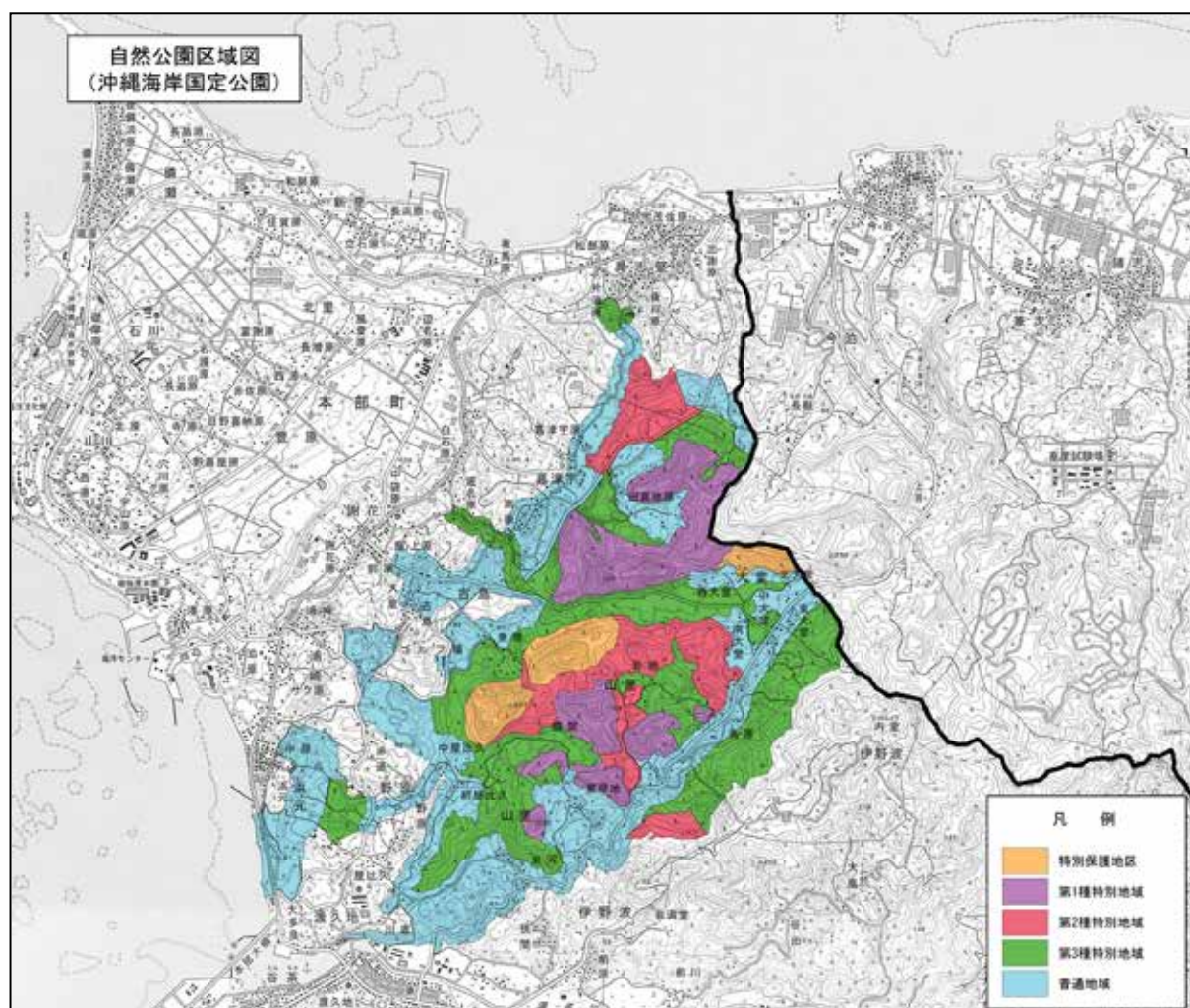
資料:平成16年 白地地域建築形態規制図作成等業務





## 第 章 本部町における現状と課題





## 第 章 本部町における現状と課題

### ( 6 ) 建物

#### 1 ) 建物用途現況

本町の建物用途現況をみると、本部町全体で 9,903 棟の建物があり、そのうち住居系 ( 8,305 棟、83.9% ) が最も多く、次いでその他 ( 673 棟、6.8% )、商業系 ( 525 棟、5.3% )、農業系 ( 309 棟、3.1% )、工業系 ( 91 棟、0.9% ) となっている。

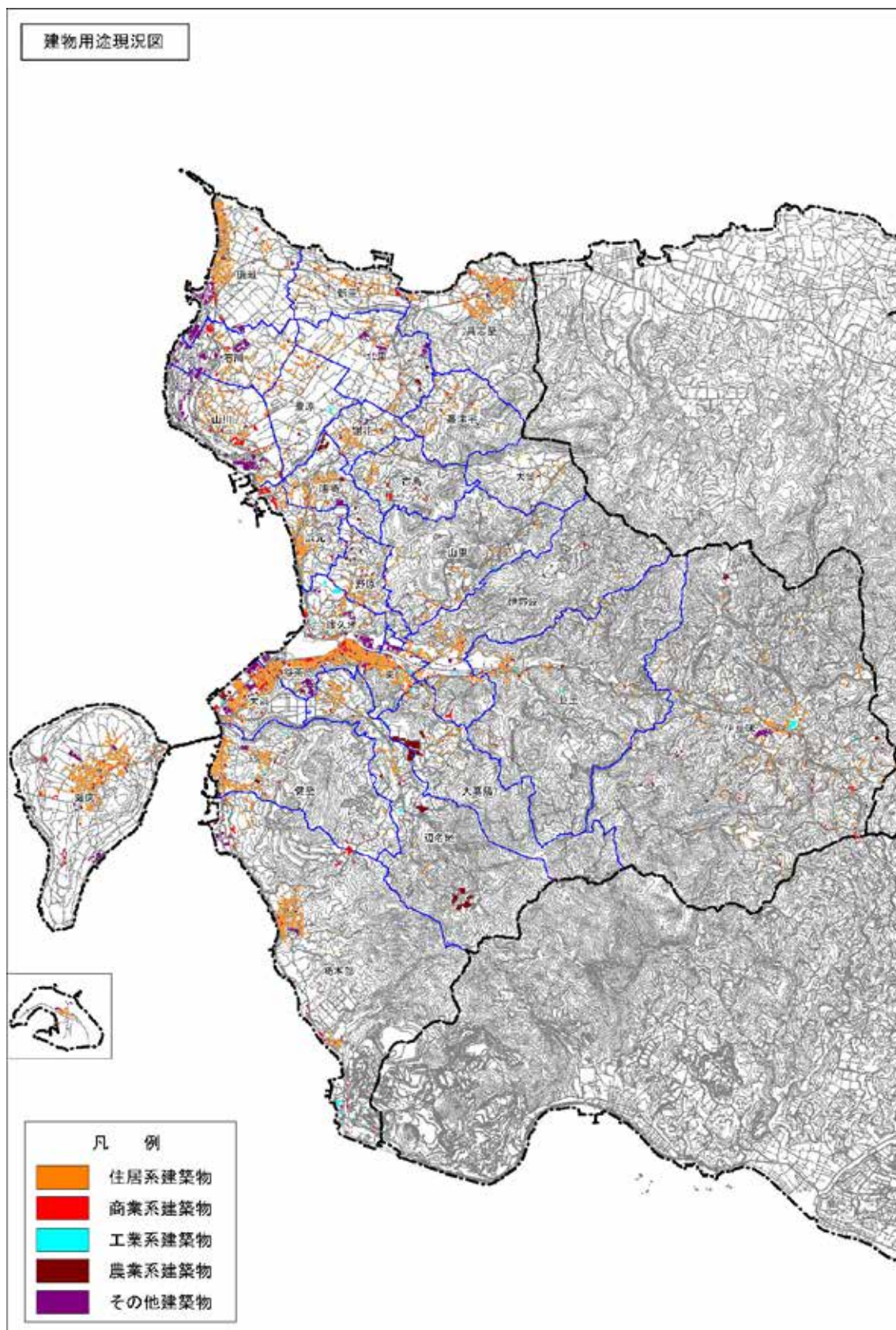
■ 地域別建物用途別棟数

単位: 棟

|       |    | 住居系   | 商業系  | 工業系  | 農業系  | その他   | 合計     |
|-------|----|-------|------|------|------|-------|--------|
| 北部地域  | 棟数 | 2,360 | 139  | 10   | 75   | 326   | 2,910  |
|       | 割合 | 81.1% | 4.8% | 0.3% | 2.6% | 11.2% | 100.0% |
| 中北部地域 | 棟数 | 1,580 | 92   | 19   | 90   | 65    | 1,846  |
|       | 割合 | 85.6% | 5.0% | 1.0% | 4.9% | 3.5%  | 100.0% |
| 中南部地域 | 棟数 | 1,960 | 137  | 35   | 83   | 156   | 2,371  |
|       | 割合 | 82.7% | 5.8% | 1.5% | 3.5% | 6.6%  | 100.0% |
| 南部地域  | 棟数 | 1,787 | 107  | 21   | 31   | 97    | 2,043  |
|       | 割合 | 87.5% | 5.2% | 1.0% | 1.5% | 4.7%  | 100.0% |
| 東部地域  | 棟数 | 618   | 50   | 6    | 30   | 29    | 733    |
|       | 割合 | 84.3% | 6.8% | 0.8% | 4.1% | 4.0%  | 100.0% |
| 本部町   | 棟数 | 8,305 | 525  | 91   | 309  | 673   | 9,903  |
|       | 割合 | 83.9% | 5.3% | 0.9% | 3.1% | 6.8%  | 100.0% |

資料：H18 都市計画基礎調査

その他の用途とは公共施設や病院、倉庫等である。



## 第 章 本部町における現状と課題

### 2) 開発動向

本町における平成 13 年～平成 20 年の開発許可状況をみると、平成 13 年～平成 15 年の 3 年間は 0 件であるが、平成 16 年に 2 件、平成 17 年～平成 19 年においては毎年 3 件あり、近年、開発動向がみられることがわかる。

予定建築物の用途をみると、宅地分譲が 12 件中 6 件と、半数を占めている。

< 開発許可状況 >

| 年次     | 住宅                                   | 商業                                  | 工業                                  | 農林漁業                                | その他                                | 合計                                   |
|--------|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 平成13年度 | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )          | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )        | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )          |
| 平成14年度 | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )          | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )        | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )          |
| 平成15年度 | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )          | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )        | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )          |
| 平成16年度 | 3,634.00 m <sup>2</sup><br>( 1 件 )   | 29,228.12 m <sup>2</sup><br>( 1 件 ) | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )        | 32,862.12 m <sup>2</sup><br>( 2 件 )  |
| 平成17年度 | 56,125.49 m <sup>2</sup><br>( 2 件 )  | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 29,897.87 m <sup>2</sup><br>( 1 件 ) | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )        | 86,023.36 m <sup>2</sup><br>( 3 件 )  |
| 平成18年度 | 7,666.97 m <sup>2</sup><br>( 1 件 )   | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 13,614.40 m <sup>2</sup><br>( 1 件 ) | 9,043.00 m <sup>2</sup><br>( 1 件 ) | 30,324.37 m <sup>2</sup><br>( 3 件 )  |
| 平成19年度 | 177,602.70 m <sup>2</sup><br>( 3 件 ) | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )        | 177,602.70 m <sup>2</sup><br>( 3 件 ) |
| 平成20年度 | 34,674.07 m <sup>2</sup><br>( 1 件 )  | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )         | 0 m <sup>2</sup><br>( 0 件 )        | 34,674.07 m <sup>2</sup><br>( 1 件 )  |

資料：「開発許可データ」沖縄県

### ■ 開発許可一覧

| 年月日       | 開 発 区 域 |                       | 自己用又は非自己用の別 | 予定建築物の用途              |
|-----------|---------|-----------------------|-------------|-----------------------|
|           | 住所      | 面積 ( m <sup>2</sup> ) |             |                       |
| H16.9.22  | 本部町字備瀬  | 29,228                | 自己の業務用      | 宿泊施設及び飲食施設            |
| H17.3.10  | 本部町字辺名地 | 3,634                 | 非自己居住用      | 共同住宅                  |
| H17.11.29 | 本部町字豊原  | 29,898                | 自己の業務用      | 農産品加工工場及び事務所          |
| H17.5.31  | 本部町字山川  | 9,059                 | 非自己居住用      | 宅地分譲                  |
| H18.3.31  | 本部町字山里  | 47,066                | 非自己居住用      | 宅地分譲 ( 住宅 )           |
| H18.9.13  | 本部町字石川  | 7,667                 | 非自己居住用      | 宅地分譲 ( 住宅 )           |
| H19.2.16  | 本部町字石川  | 9,043                 | 自己の業務用      | 事務所、倉庫、車庫             |
| H19.3.29  | 本部町字具志堅 | 13,614                | 自己の業務用      | 複合用途建築物 ( 店舗兼展示場集会場 ) |
| H19.6.29  | 本部町字瀬底  | 167,394               | 非自己居住用      | condominium、宅地分譲      |
| H19.11.13 | 本部町字伊野波 | 4,993                 | 非自己居住用      | 一戸建ての住宅               |
| H20.2.14  | 本部町字瀬底  | 5,215                 | 非自己居住用      | 宅地分譲                  |
| H20.11.10 | 本部町字伊野波 | 34,674                | 非自己居住用      | 宅地分譲                  |

資料：「開発許可データ」沖縄県

## 第 章 本部町における現状と課題

### 3) 新築動向

平成 8 年～平成 20 年における新築動向をみると、町全体で 973 件であり、うち住宅が 739 件（76.0%）、商業が 130 件（13.4%）、工業が 46 件（4.7%）、その他が 58 件（6.0%）となっている。

地区別の動向を見ると、瀬底が最も多く 125 件であり、次いで伊豆味が 88 件、崎本部 67 件、大浜 60 件となっている。逆に新築動向があまりみられない地区は、大堂が 4 件と最も少なく、次いで、謝花の 11 件、嘉津宇及び大嘉陽の 12 件となっている。

また、商業系の建築動向をみると、瀬底が 30 件と最も多く、次いで大浜の 18 件、崎本部及び山川の 13 件となっている。

次に工業系の新築動向をみると、崎本部が 10 件で最も多く、次いで瀬底の 5 件となっている。

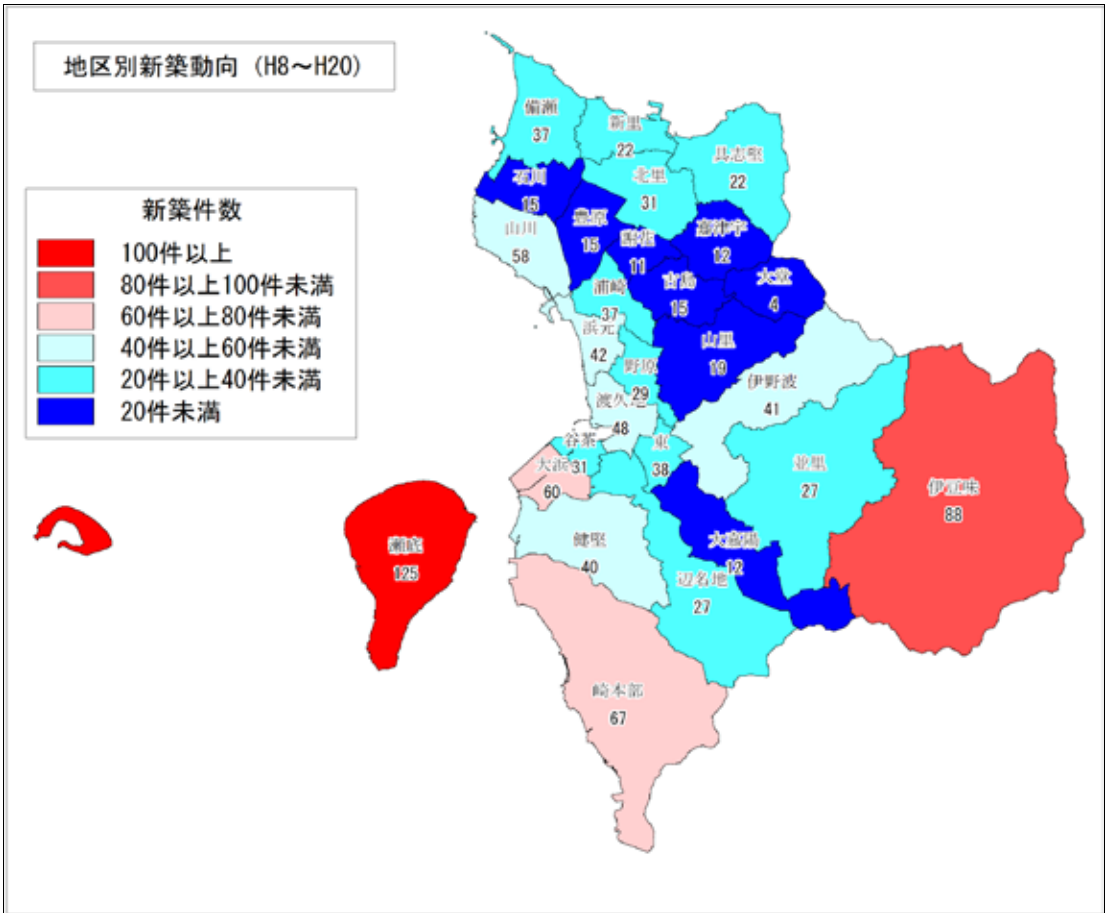
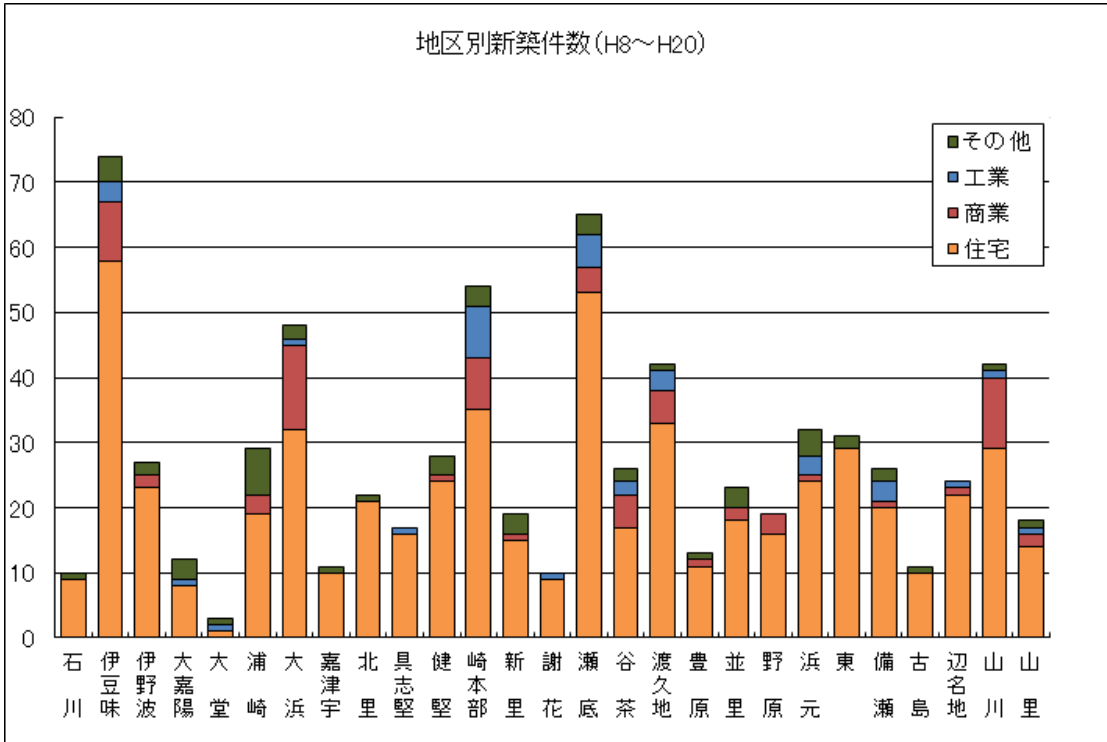
■地区別新築状況（H8～H20）

| 地区名   | 新築物件 |     |       |     |       |    |       |     |       |
|-------|------|-----|-------|-----|-------|----|-------|-----|-------|
|       | 合計   | 住宅  |       | 商業  |       | 工業 |       | その他 |       |
|       |      | 件数  | 割合    | 件数  | 割合    | 件数 | 割合    | 件数  | 割合    |
| 石 川   | 15   | 10  | 66.7% | 4   | 26.7% | 0  | 0.0%  | 1   | 6.7%  |
| 伊豆味   | 88   | 70  | 79.5% | 10  | 11.4% | 3  | 3.4%  | 5   | 5.7%  |
| 伊野波   | 41   | 35  | 85.4% | 3   | 7.3%  | 0  | 0.0%  | 3   | 7.3%  |
| 大嘉陽   | 12   | 8   | 66.7% | 0   | 0.0%  | 1  | 8.3%  | 3   | 25.0% |
| 大 堂   | 4    | 2   | 50.0% | 0   | 0.0%  | 1  | 25.0% | 1   | 25.0% |
| 浦 崎   | 37   | 23  | 62.2% | 6   | 16.2% | 1  | 2.7%  | 7   | 18.9% |
| 大 浜   | 60   | 39  | 65.0% | 18  | 30.0% | 1  | 1.7%  | 2   | 3.3%  |
| 嘉津宇   | 12   | 11  | 91.7% | 0   | 0.0%  | 0  | 0.0%  | 1   | 8.3%  |
| 北 里   | 31   | 27  | 87.1% | 0   | 0.0%  | 3  | 9.7%  | 1   | 3.2%  |
| 具志堅   | 22   | 19  | 86.4% | 2   | 9.1%  | 1  | 4.5%  | 0   | 0.0%  |
| 健 堅   | 40   | 36  | 90.0% | 1   | 2.5%  | 0  | 0.0%  | 3   | 7.5%  |
| 崎本部   | 67   | 41  | 61.2% | 13  | 19.4% | 10 | 14.9% | 3   | 4.5%  |
| 新 里   | 22   | 18  | 81.8% | 1   | 4.5%  | 0  | 0.0%  | 3   | 13.6% |
| 謝 花   | 11   | 10  | 90.9% | 0   | 0.0%  | 1  | 9.1%  | 0   | 0.0%  |
| 瀬 底   | 125  | 83  | 66.4% | 30  | 24.0% | 5  | 4.0%  | 7   | 5.6%  |
| 谷 茶   | 31   | 19  | 61.3% | 8   | 25.8% | 2  | 6.5%  | 2   | 6.5%  |
| 渡久地   | 48   | 37  | 77.1% | 6   | 12.5% | 4  | 8.3%  | 1   | 2.1%  |
| 豊 原   | 15   | 13  | 86.7% | 1   | 6.7%  | 0  | 0.0%  | 1   | 6.7%  |
| 並 里   | 27   | 21  | 77.8% | 2   | 7.4%  | 1  | 3.7%  | 3   | 11.1% |
| 野 原   | 29   | 24  | 82.8% | 3   | 10.3% | 2  | 6.9%  | 0   | 0.0%  |
| 浜 元   | 42   | 34  | 81.0% | 1   | 2.4%  | 3  | 7.1%  | 4   | 9.5%  |
| 東     | 38   | 34  | 89.5% | 2   | 5.3%  | 0  | 0.0%  | 2   | 5.3%  |
| 備 瀬   | 37   | 30  | 81.1% | 2   | 5.4%  | 3  | 8.1%  | 2   | 5.4%  |
| 古 島   | 15   | 14  | 93.3% | 0   | 0.0%  | 0  | 0.0%  | 1   | 6.7%  |
| 辺名地   | 27   | 24  | 88.9% | 2   | 7.4%  | 1  | 3.7%  | 0   | 0.0%  |
| 山 川   | 58   | 42  | 72.4% | 13  | 22.4% | 2  | 3.4%  | 1   | 1.7%  |
| 山 里   | 19   | 15  | 78.9% | 2   | 10.5% | 1  | 5.3%  | 1   | 5.3%  |
| 本部町合計 | 973  | 739 | 76.0% | 130 | 13.4% | 46 | 4.7%  | 58  | 6.0%  |

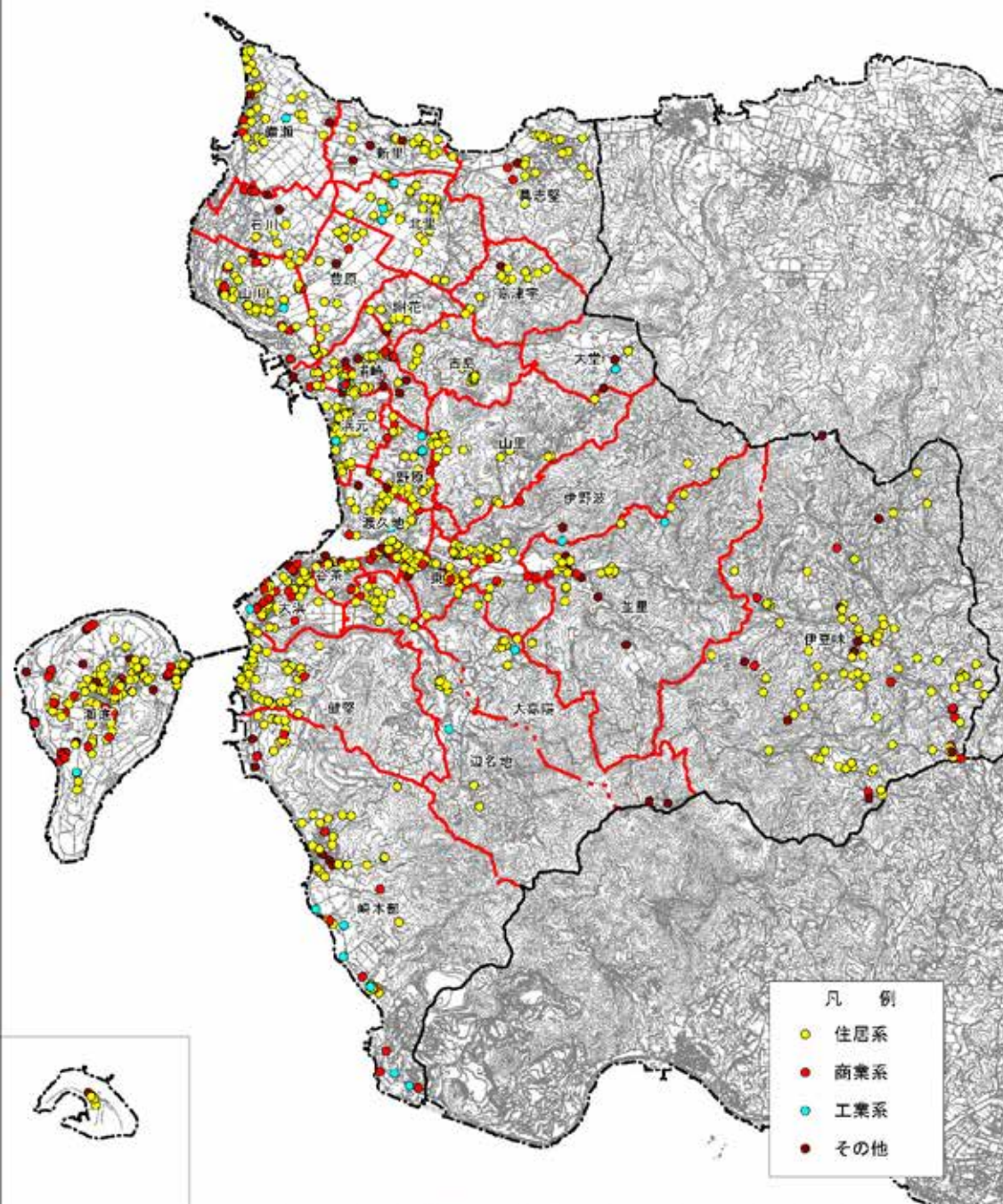
注) 増、改築は除く。

資料：建築概要書

# 第 章 本部町における現状と課題



新築建物動向図 (H8～H20)



## 第 章 本部町における現状と課題

### 4) 住宅着工統計

本町における平成13年～平成19年の住宅着工件数をみると、平成13年は85件であったが、平成19年には140件と増加傾向にある。

また、住宅種別でみると、持家の件数自体にあまり増加はみられないが、貸家の件数が増加している。着工件数に占める貸家の割合をみると、平成13年は約48.2%であったが、平成19年には70.0%となっている。

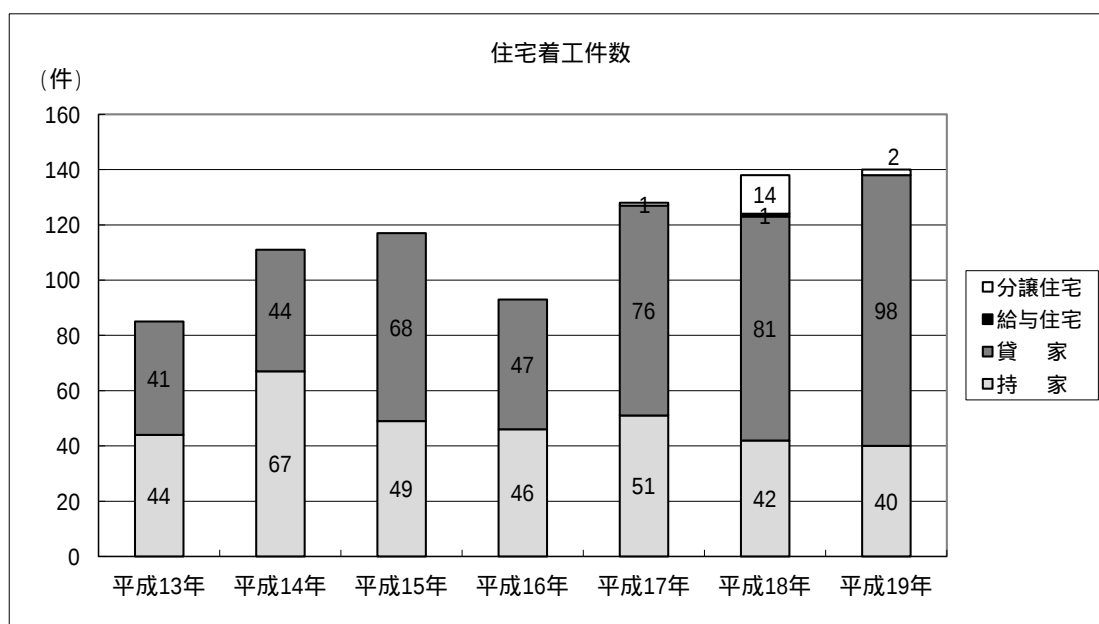
さらに、平成17年以降分譲住宅の着工もみられる。

■ 住宅着工件数

単位: 件、%

|      |    | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 |
|------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 持 家  | 件数 | 44    | 67    | 49    | 46    | 51    | 42    | 40    |
|      | 割合 | 51.8% | 60.4% | 41.9% | 49.5% | 39.8% | 30.4% | 28.6% |
| 貸 家  | 件数 | 41    | 44    | 68    | 47    | 76    | 81    | 98    |
|      | 割合 | 48.2% | 39.6% | 58.1% | 50.5% | 59.4% | 58.7% | 70.0% |
| 給与住宅 | 件数 | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     | 0     |
|      | 割合 | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%  | 0.7%  | 0.0%  |
| 分譲住宅 | 件数 | 0     | 0     | 0     | 0     | 1     | 14    | 2     |
|      | 割合 | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%  | 0.0%  | 0.8%  | 10.1% | 1.4%  |
| 計    |    | 85    | 111   | 117   | 93    | 128   | 138   | 140   |

資料: 住宅着工統計



( 7 ) 道路

1 ) 道路網

本町における道路網は、国道 449 号、国道 505 号、名護本部線（県道 84 号線）、県道 114 号線、県道 115 号線及び瀬底健堅線（県道 172 号線）を幹線道路として形成されている。

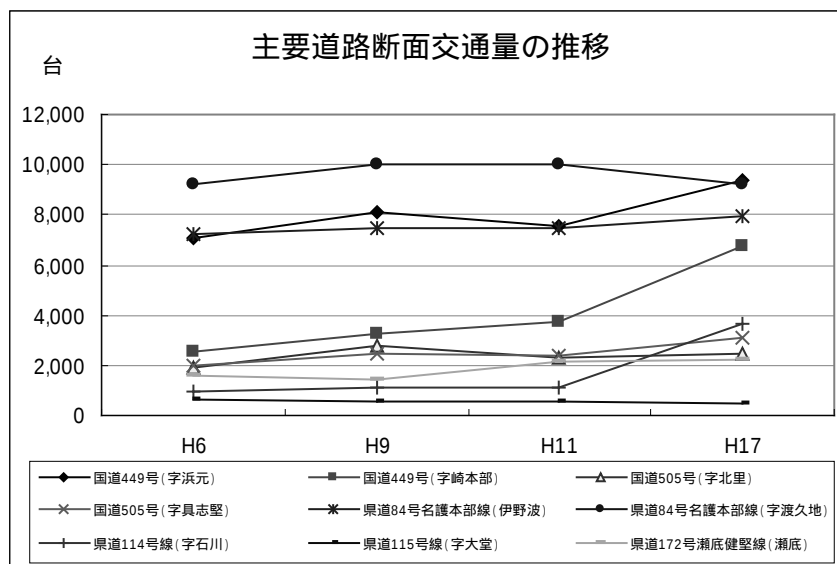
平成 17 年において混雑度が 1 を越えている道路は、国道 449 号の浜元地点（混雑度：1.23）と、名護本部線（県道 84 号線）の渡久地地点（混雑度：1.01）である。

主要道路における交通量の推移をみると、名護本部線（県道 84 号線）の渡久地地点及び県道 115 号線の大堂地点以外は概ね増加傾向を示している。

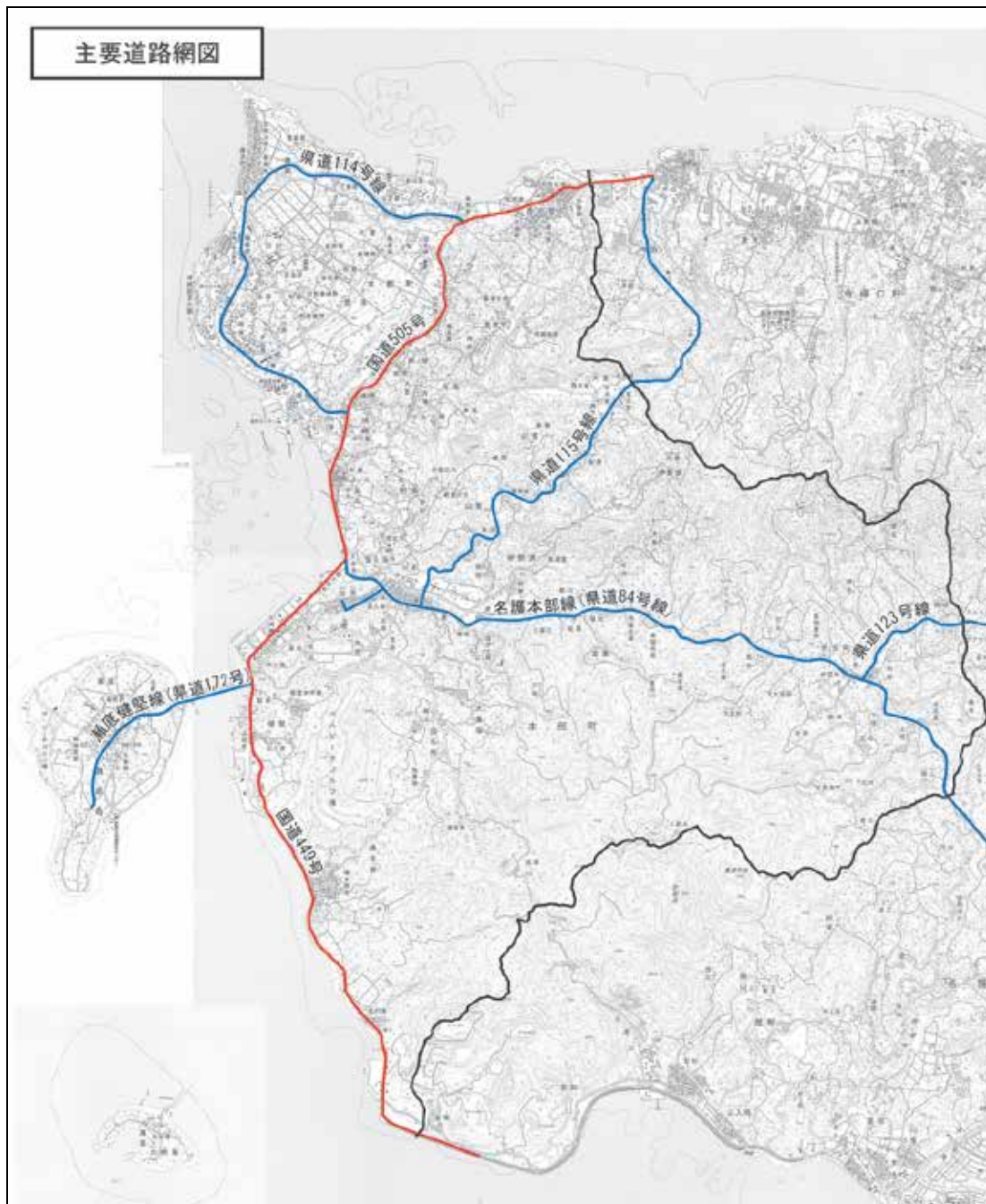
表 主要道路断面交通量の推移

| 路線名              | 観測地点名 | 12時間交通量(台) |       |       |       | 混雑度  |      |      |      |
|------------------|-------|------------|-------|-------|-------|------|------|------|------|
|                  |       | H6         | H9    | H11   | H17   | H6   | H9   | H11  | H17  |
| 国道449号           | 字浜元   | 7,045      | 8,132 | 7,570 | 9,395 | 0.80 | 1.07 | 0.92 | 1.23 |
|                  | 字崎本部  | 2,569      | 3,255 | 3,753 | 6,724 | 0.53 | 0.51 | 0.54 | 0.66 |
| 国道505号           | 字北里   | 1,917      | 2,801 | 2,290 | 2,450 | 0.30 | 0.41 | 0.30 | 0.37 |
|                  | 字具志堅  | 2,019      | 2,442 | 2,356 | 3,119 | 0.30 | 0.32 | 0.31 | 0.41 |
| 名護本部線<br>(県道84号) | 字伊野波  | 7,236      | 7,492 | 7,459 | 7,979 | 0.85 | 0.92 | 0.90 | 0.92 |
|                  | 字渡久地  | 9,238      | 9,980 | 9,993 | 9,202 | 1.20 | 1.25 | 1.17 | 1.01 |
| 県道114号線          | 字石川   | 977        | 1,113 | 1,143 | 3,643 | 0.15 | 0.19 | 0.19 | 0.39 |
| 県道115号線          | 字大堂   | 663        | 544   | 544   | 462   | 0.09 | 0.08 | 0.08 | 0.09 |
| 県道172号<br>瀬底健堅線  | 字瀬底   | 1,582      | 1,443 | 2,128 | 2,205 | 0.24 | 0.27 | 0.29 | 0.33 |

資料：道路交通センサス



## 第 章 本部町における現状と課題

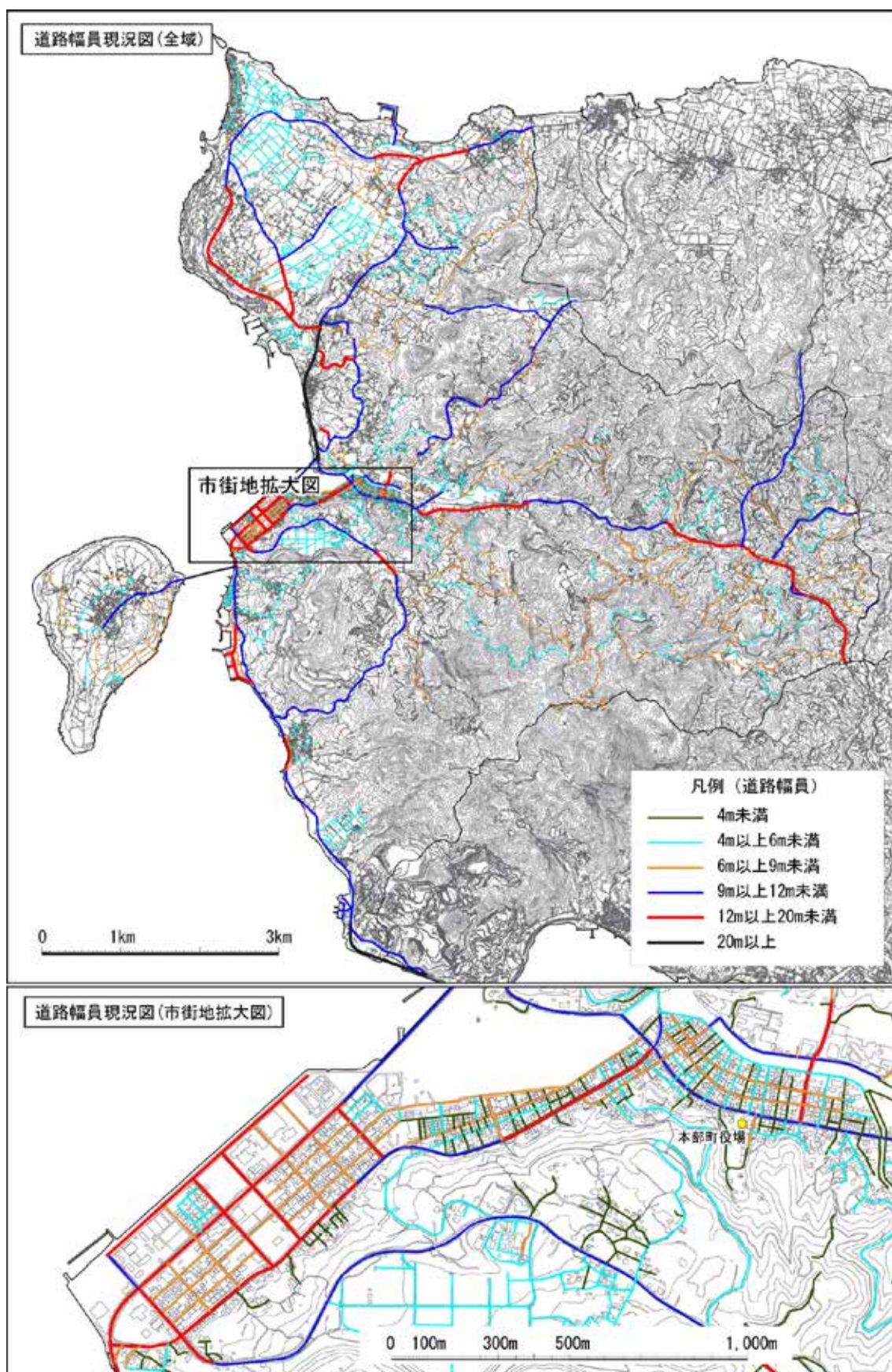


### 2) 道路幅員状況

本町における道路幅員状況をみると、12m以上の幅員は国道、県道及び一部の町道のみである。

中心的市街地においては、大浜は、道路基盤が整備されておりほとんどが幅員 6m以上の道路であるが、渡久地、谷茶、東においては、幅員 6m～4mの道路や 4m未満の道路が多く存在する。

また、その他各集落地域においては、幅員 6m未満の道路で構成されており、4m未満の道路が大半を占めている。



## 第 章 本部町における現状と課題

### ( 8 ) 都市施設

#### 1 ) 下水道

本町の平成 18 年度における下水道の状況をみると、昭和 48 年 10 月に事業着手した公共下水道（単独公共下水道）が昭和 50 年 7 月に供用開始しており、その後も事業計画に沿って整備は進んでいる。

平成 12 年度から平成 18 年度までの推移をみると、計画整備率、水洗化率（接続率）ともに増加傾向である。人口普及率は、年度により増減はあるものの、概ね 61～62% の横ばいで推移している。

表 公共下水道整備状況・普及状況

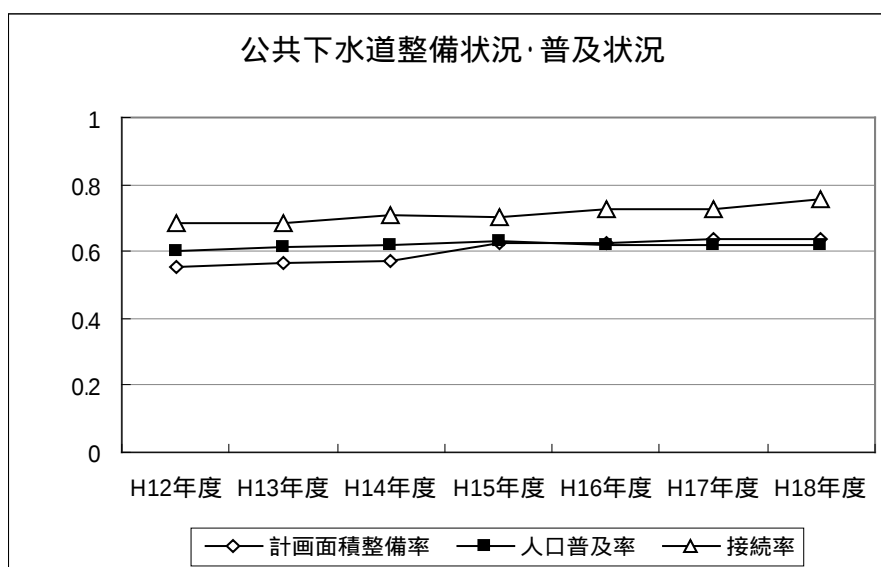
(単位:人、ha、%)

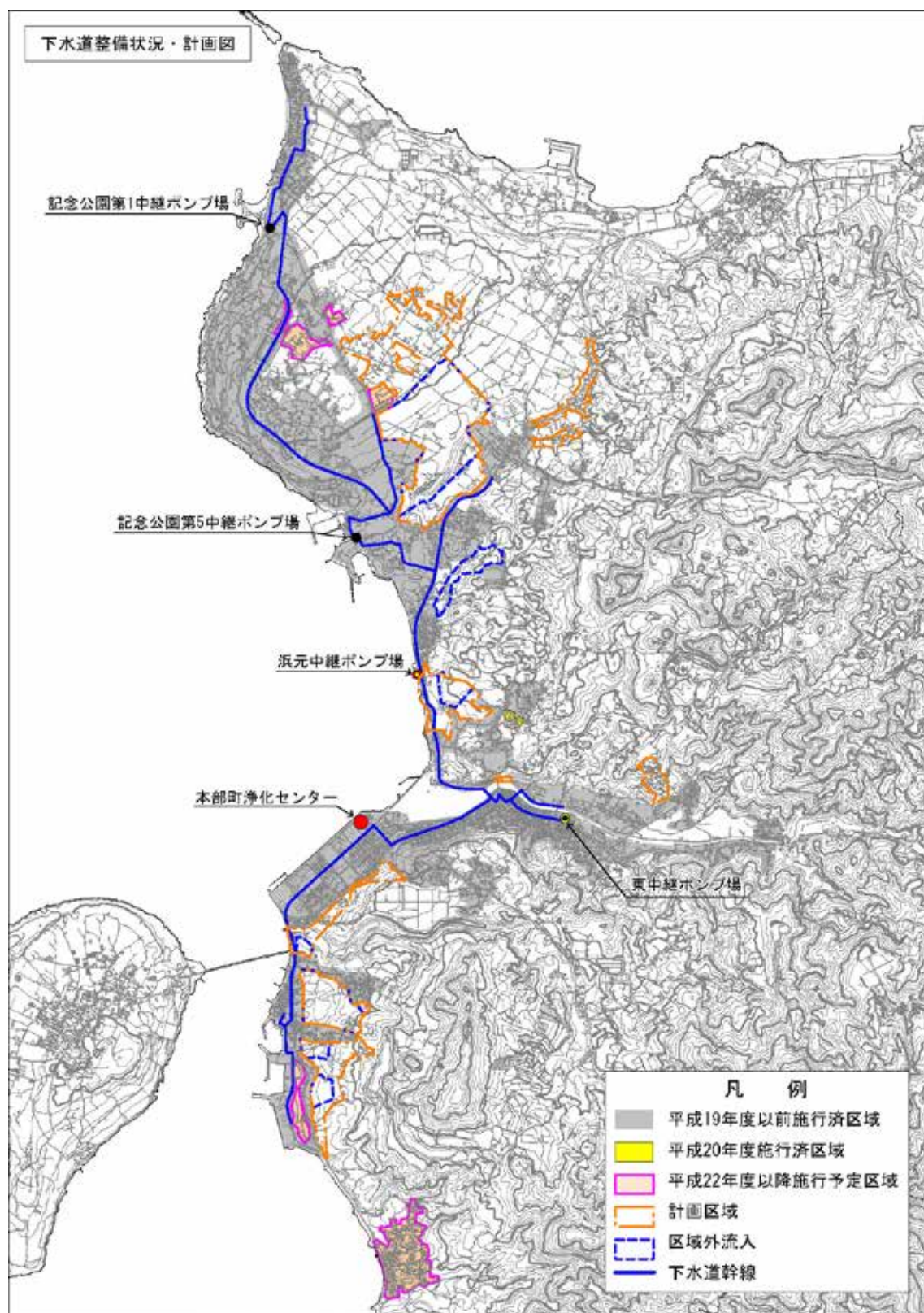
|       | A           | B              | C               | D             | E           | C/B            | D/A           | E/D           |
|-------|-------------|----------------|-----------------|---------------|-------------|----------------|---------------|---------------|
|       | 行政人口<br>(人) | 全体計画<br>面積(ha) | 供用開始済<br>面積(ha) | 利用可能<br>人口(人) | 接続人口<br>(人) | 計画面積<br>整備率(%) | 人 口<br>普及率(%) | 水洗化率<br>(接続率) |
| H12年度 | 14,641      | 654            | 362             | 8,839         | 6,031       | 55.4           | 60.4          | 68.2          |
| H13年度 | 14,553      | 654            | 369             | 8,887         | 6,108       | 56.4           | 61.1          | 68.7          |
| H14年度 | 14,562      | 654            | 372             | 8,988         | 6,350       | 56.9           | 61.7          | 70.6          |
| H15年度 | 14,481      | 654            | 410             | 9,152         | 6,403       | 62.7           | 63.2          | 70.0          |
| H16年度 | 14,469      | 654            | 410             | 8,956         | 6,527       | 62.7           | 61.9          | 72.9          |
| H17年度 | 14,358      | 654            | 415             | 8,873         | 6,460       | 63.5           | 61.8          | 72.8          |
| H18年度 | 14,282      | 654            | 415             | 8,837         | 6,696       | 63.5           | 61.9          | 75.8          |

各年3月末日現在

資料:沖縄県市町村別公共下水道整備状況

行政人口は、各年3月31日現在の住民基本台帳による





## 第 章 本部町における現状と課題

### 2) 港湾

本町は、水納港、本部港（渡久地地区・本部地区・浜崎地区・瀬底地区）の2港4地区の地方港湾を有している。

現在の各港の定期航路の状況は、水納港及び本部港（渡久地地区）は、その間を定期船が運航している。

本部港（本部地区）は、伊江島への定期フェリーが運航し、那覇～鹿児島航路の大型フェリーも毎日寄港しており、本島北部地域の拠点港として機能している。

浜崎地区及び瀬底地区は、昭和60年に瀬底大橋が完成するまで定期船が1日11往復する瀬底島の生活港として機能していた。その役割を終えた現在は船着場があるのみで、地元の漁船が利用している。

また、本町は、浜崎漁港及び新里漁港の2港の漁港を有している。

表 港湾の概要

| 港湾名 | 地区名   | 港格  | 管理者 | 面積(ha) | 認可年月日    | 港湾区域変更状況 |
|-----|-------|-----|-----|--------|----------|----------|
| 水納港 | -     | 地方港 | 沖縄県 | 42     | S47.5.15 | S61.5.31 |
| 本部港 | 渡久地地区 | 地方港 | 沖縄県 | 1,302  | S47.5.15 | H18.7.24 |
|     | 本部地区  | 地方港 | 沖縄県 |        | S47.5.15 | H18.7.24 |
|     | 浜崎地区  | 地方港 | 沖縄県 |        | S47.5.15 | H18.7.24 |
|     | 瀬底地区  | 地方港 | 沖縄県 |        | S47.5.15 | H18.7.24 |

資料：沖縄県港湾課

表 入港船舶、港湾取扱貨物量及び船舶乗降人員の推移

(単位：隻、t、人)

|                |         |      | H11       | H12       | H13       | H14       | H15       | H16       | H17       | H18       | H19       |
|----------------|---------|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 水納港            | 入港船舶    | 隻数   | 1,686     | 1,615     | 2,058     | 1,606     | 2,766     | 1,938     | 1,913     | 1,657     | 1,629     |
|                |         | 総トン数 | 104,935   | 95,603    | 125,438   | 104,160   | 228,153   | 107,638   | 106,357   | 107,705   | 105,609   |
|                | 港湾取扱貨物量 | 輸移出  | 6,690     | 1,417     | 350       | 205       | 9,988     | 625       | 43        | 15        | 1,256     |
|                |         | 輸移入  | 7,398     | 1,722     | 439       | 292       | 35,365    | 3,175     | 119       | 59        | 2,105     |
|                |         | 計    | 14,088    | 3,139     | 789       | 497       | 45,353    | 3,800     | 162       | 74        | 3,361     |
|                | 船舶乗降人員  | 乗込   | 60,360    | 51,703    | 57,839    | 64,994    | 72,232    | 67,307    | 68,689    | 64,614    | 61,480    |
|                |         | 上陸   | 60,951    | 50,876    | 55,850    | 63,036    | 71,738    | 67,797    | 70,244    | 64,918    | 61,452    |
|                |         | 計    | 121,311   | 102,579   | 113,689   | 128,030   | 143,970   | 135,104   | 138,933   | 129,532   | 122,932   |
| 本部港<br>(渡久地地区) | 入港船舶    | 隻数   | 6,780     | 5,711     | 6,040     | 6,284     | 9,526     | 10,212    | 10,556    | 6,361     | 6,817     |
|                |         | 総トン数 | 306,664   | 169,189   | 199,273   | 176,292   | 183,741   | 197,516   | 200,623   | 182,223   | 247,202   |
|                | 港湾取扱貨物量 | 輸移出  | 34,037    | 3,877     | 30,936    | 6,657     | 10,081    | 11,283    | 8,647     | 8,291     | 5,173     |
|                |         | 輸移入  | 2,404     | 1,522     | 1,698     | 1,125     | 15,487    | 4,241     | 2,610     | 931       | 571       |
|                |         | 計    | 36,441    | 5,399     | 32,634    | 7,782     | 25,568    | 15,524    | 11,257    | 9,222     | 5,744     |
|                | 船舶乗降人員  | 乗込   | 93,136    | 83,723    | 97,893    | 109,709   | 100,973   | 98,084    | 102,495   | 134,236   | 93,726    |
|                |         | 上陸   | 94,680    | 83,567    | 95,904    | 112,751   | 101,467   | 89,170    | 100,940   | 134,570   | 93,754    |
|                |         | 計    | 187,816   | 167,290   | 193,797   | 222,460   | 202,440   | 187,254   | 203,435   | 268,806   | 187,480   |
| 本部港<br>(本部地区)  | 入港船舶    | 隻数   | 4,143     | 3,837     | 4,650     | 6,286     | 8,024     | 6,896     | 7,110     | 4,200     | 3,597     |
|                |         | 総トン数 | 4,270,938 | 3,585,468 | 3,684,450 | 5,334,096 | 5,636,350 | 5,200,408 | 5,390,455 | 5,337,153 | 4,946,250 |
|                | 港湾取扱貨物量 | 輸移出  | 1,616,281 | 1,393,879 | 1,305,734 | 1,583,824 | 1,611,817 | 1,278,338 | 1,445,751 | 1,292,476 | 1,666,868 |
|                |         | 輸移入  | 940,292   | 926,305   | 876,102   | 912,651   | 826,317   | 851,616   | 889,381   | 827,418   | 765,645   |
|                |         | 計    | 2,556,573 | 2,320,184 | 2,181,836 | 2,496,475 | 2,438,134 | 2,129,954 | 2,335,132 | 2,119,894 | 2,432,513 |
|                | 船舶乗降人員  | 乗込   | 195,417   | 217,817   | 224,297   | 228,907   | 235,750   | 229,744   | 241,971   | 239,798   | 252,391   |
|                |         | 上陸   | 198,204   | 218,839   | 225,486   | 229,040   | 236,482   | 231,667   | 242,454   | 240,132   | 253,084   |
|                |         | 計    | 393,621   | 436,656   | 449,783   | 457,947   | 472,232   | 461,500   | 484,425   | 479,930   | 505,475   |

資料：沖縄県港湾課

## 第 章 本部町における現状と課題

表 漁港の概要

| 漁港名  | 種別    | 管理者 | 漁港番号    | 指定年月日    |
|------|-------|-----|---------|----------|
| 浜崎漁港 | 第1種漁港 | 本部町 | 5010320 | S44.10.7 |
| 新里漁港 | 第1種漁港 | 本部町 | 5010345 | S59.2.14 |

資料：沖縄県漁港漁場課

第1種漁港：その利用の範囲が地元の漁業を主とするもの

第2種漁港：その利用の範囲が第1種漁港よりは広いが全国的な利用ではないもの

第3種漁港：その利用の範囲が全国的なもの

第4種漁港：離島、その他辺地において漁場の開発又は漁船の避難上特に必要なもの



## 第 章 本部町における現状と課題

### 3) 公園

#### 都市公園

都市公園・緑地の状況をみると、街区公園（渡久地児童公園）1ヶ所、近隣公園（谷茶公園）1ヶ所、広域公園（国営沖縄記念公園海洋博覧会地区）1ヶ所の計3ヶ所、約78.97haが計画決定されている。

このうち、供用開始されているのは2ヶ所、約73.30ha、供用率は92.6%である。また、一人当たり公園面積は51.0㎡/人であるが、これは、広域公園（国営沖縄記念公園海洋博覧会地区）の供用面積によるところが大きく、住区基幹公園の一人当たり公園面積では約1㎡/人となっており、「都市計画中央審議会答申（H7）」で示された住区基幹公園整備目標値4.0㎡/人を下回っていることから、住民に身近な公園が不足していることが窺える。

表 都市公園・緑地の状況

(単位:箇所、ha、%)

| 表 都市公園 緑地の状況               |      |      |    |      |                       |             | (単位:箇所、ha、%) |    |
|----------------------------|------|------|----|------|-----------------------|-------------|--------------|----|
|                            |      |      | 箇所 | 面積   |                       |             | 箇所           | 面積 |
| 住<br>区<br>基<br>幹<br>公<br>園 | 街区公園 | 供用開始 | -  | -    | 特殊公園                  |             | 供用開始         | -  |
|                            |      | 計画決定 | 1  | 0.17 |                       |             | 計画決定         | -  |
|                            | 近隣公園 | 供用開始 | 1  | 1.70 | 国営公園                  |             | 供用開始         | 1  |
|                            |      | 計画決定 | 1  | 1.80 |                       |             | 計画決定         | 1  |
|                            | 地区公園 | 供用開始 | -  | -    | 地<br>等<br>緩<br>衝<br>緑 | 都市緑地        | 供用開始         | -  |
|                            |      | 計画決定 | -  | -    |                       |             | 計画決定         | -  |
| 幹<br>都<br>市<br>公<br>園<br>基 | 総合公園 | 供用開始 | -  | -    |                       | 広場公<br>園・緑道 | 供用開始         | -  |
|                            |      | 計画決定 | -  | -    |                       |             | 計画決定         | -  |
|                            | 運動公園 | 供用開始 | -  | -    | 合計                    |             | 供用開始         | 2  |
|                            |      | 計画決定 | -  | -    |                       |             | 計画決定         | 3  |
|                            |      |      |    |      | 供用率 (%)               |             | 92.6         |    |
|                            |      |      |    |      | 一人当り公園面積 (㎡/人)        |             | 51.0         |    |
|                            |      |      |    |      | 一人当り住区基幹公園面積 (㎡/人)    |             | 1.2          |    |

緑道:その他(未決定)を除く

資料:沖縄県の都市公園(平成22年1月現在)

一人当たり公園面積:供用開始面積合計÷人口(H17国勢調査)

広域公園(沖縄記念公園海洋博覧会地区)の供用開始面積はH18年6月23日現在

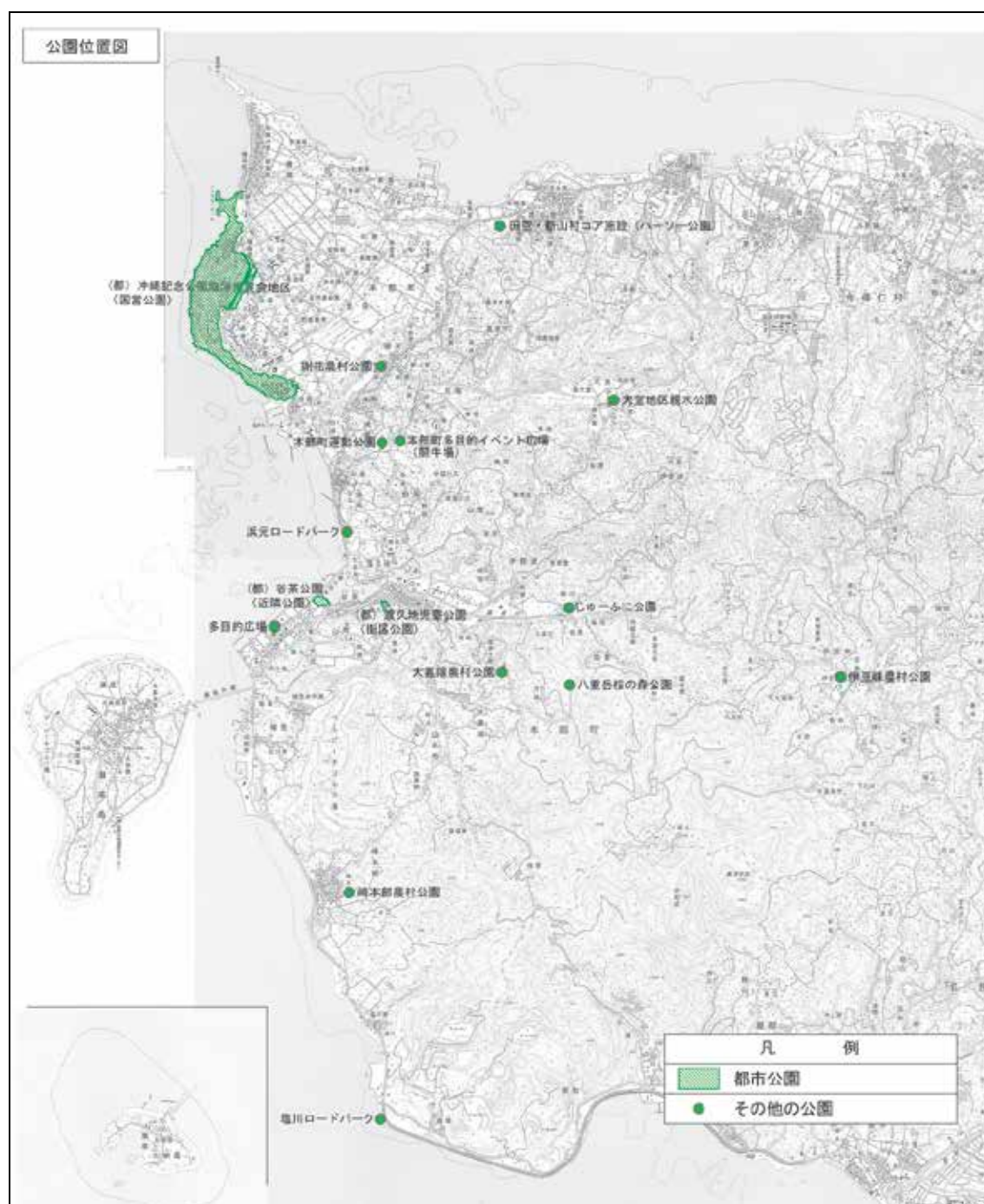
#### その他の公園

その他の公園を下表に示す。農村公園、親水公園、ロードパーク等が整備されている。

表 その他の公園

| 名称                 | 設置年月日    | 公園面積   | 所在地         |
|--------------------|----------|--------|-------------|
| 謝花農村公園             | H11.9.29 | 6,623㎡ | 謝花1         |
| 崎本部農村公園            | H11.9.24 | 709㎡   | 崎本部194-2    |
| 大嘉陽農村公園            | H17.3.24 | 1,292㎡ | 伊野波151      |
| 伊豆味農村公園            | H12.3.31 | 9,930㎡ | 伊豆味1-1(外8筆) |
| 大堂地区親水公園           |          |        | 大堂          |
| 八重岳桜の森公園           |          |        | 並里921       |
| じゅーふに公園            |          |        | 並里          |
| 本部町運動公園            |          |        | 浜元598       |
| 本部町多目的イベント広場(闘牛場)  |          |        | 浦崎1178      |
| 多目的広場              |          |        | 大浜          |
| 浜元ロードパーク           |          |        | 渡久地         |
| 塩川ロードパーク           |          |        | 崎本部         |
| 田空・新山村コア施設(ハーソー公園) |          |        | 具志堅         |

## 第 章 本部町における現状と課題



## 第 章 本部町における現状と課題

### 2 . 上位関連計画

#### ( 1 ) 沖縄振興計画 ( 平成 14 年 7 月 内閣府 ) ( 北部地域関連の抜粋 )

##### 【県土利用の基本方向】

##### ○県土の適正な利用

- ・農山漁村については、地域特性を踏まえた良好な生活環境を整備するとともに、多様なニーズ対応した農林水産業の展開等により、活力ある地域社会を構築する。

##### ○海洋の保全

- ・貴重な国民の財産であることから、陸域と一体となった海域の保全を図るとともに、海洋資源や海洋空間の多面的、総合的な利活用を促進する。
- ・沿岸域については、細心の注意を払いつつ必要に応じて用地を計画的に確保し、国際的海洋性リゾート地の形成や交通・都市機能等の整備充実を図る。

##### ○駐留軍跡地の有効利用

- ・農林業的土地利用が想定される地域については、農業基盤整備を計画的に推進し、公共施設整備や集落整備を含めた総合的な整備を促進する。
- ・その他の駐留軍用地跡地については、自然環境の保全を図るとともに、周辺の土地利用との調整を図りつつその有効利用を進める。

##### 【都市基盤施設の整備方針】

##### <観光・リゾート産業>

- ・各観光・リゾート拠点のテーマ性を持たせたネットワーク化とともに、アクセス道路、駐車場及びインフォメーション施設等の整備や、総合的な公共交通等のネットワークの充実により、観光客の移動の利便性を高める。

##### <交通基盤>

- ・交通基盤については、北部新空港及び民間航空関連施設の整備を行うとともに、関連産業の立地促進に向けて取り組む。また、規格の高い幹線道路ネットワークの形成を推進するとともに、東西、南北間の交通の利便性の向上に資する道路を整備する。

##### <定住条件の整備>

- ・北部地域への定住を促進するため、生活環境を整備する。このため、住宅、道路等の整備をはじめ、上下水道、集落排水施設等を整備する。

##### 【産業振興の基本方針】

##### <観光・リゾート産業の振興>

- ・エコツーリズム等の体験滞在型観光を促進するとともに、健康増進施設の整備を図る。
- ・国際的リゾートを形成するため、西海岸から北部地域全体にいたる観光リゾート拠点の整備を図り、周遊ルート化を促進する。

### < 農林水産業の振興 >

- ・生産基盤の整備を推進し特産品の高付加価値化を図るため、集出荷施設及び農産加工施設の整備を促進する。
- ・木材生産拠点の産地形成や、森林ツーリズム等の多面的活用を図る。
- ・モズク、魚類等の養殖魚介類の生産拡大を図るとともに生産体制等を強化する。

### < 商工業の振興 >

- ・地域資源活用のため、加工製造業の効率的な事業展開や新たな事業の創出を促進する。

### < 情報通信関連産業の振興 >

- ・情報通信産業振興地域制度の一層の活用に向けた条件整備等により、金融業務の集積を図る。

## 第 章 本部町における現状と課題

### ( 2 ) 第 4 次沖縄県国土利用計画 ( 平成 21 年 3 月 沖縄県 ) ( 北部地域関連抜粋 )

#### 【基本理念】

県土の利用は、県土が現在及び将来における県民のための限られた資源であり、生活及び生産を通ずる諸活動の共通の基盤であるという基本的認識に立って、公共の福祉を優先させ、自然環境の保全を図りつつ、地域の自然的、社会的、経済的及び文化的条件に配慮して、健康で文化的な生活環境の確保と地域性豊かな県土の均衡ある発展を図ることを基本理念として、総合的かつ計画的に行われなければならない。

#### 【基本的課題】

- ア 土地需要の量的調整
- イ 県土利用の質的向上
- ウ 県土利用の総合的なマネジメント
- エ 駐留軍用地跡地利用の促進
- オ 総合的かつ計画的な県土利用・管理

#### 【北部地域の概要】

北部地域は、沖縄本島北部及び伊平屋島、伊是名島、伊江島等の離島からなり、県土の 36.2 パーセント(824 平方キロメートル)を占める。この地域は、山地・丘陵地が約 7 割を占め、地形は急峻で変化に富み、なかでも沖縄本島北部は、多くの水系が発達し、沖縄本島の水源地として大きな役割を果たしている。また、この地域は、豊かな資源が賦存する地域として、多様なニーズに対応した農林水産業を展開するとともに、風光明媚な沿岸域を生かし、余暇需要に対応する観光・リゾート地域を形成している。特に、沖縄本島北部の亜熱帯地域特有の広大な森林は、積極的な森林の保続培養の推進により、その特性を生かした木材及び特用林産物の生産、伝統工芸産業の産地形成が期待される一方、豊かな自然環境と固有の動植物が残された貴重な地域であることから、自然環境の保全、水源かん養、保健休養等森林の持つ各種機能の総合的な発揮が期待される。

今後、この地域においては、農林水産業振興のため農業基盤整備、多目的ダム等の整備、道路、港湾等の整備、市街地の計画的整備、エコツーリズム、グリーンツーリズム、ブルーツーリズム等の体験・滞在型観光を促進するための観光・リゾート施設及びレクリエーション施設の整備、公園・緑地、学術研究施設、情報通信関連施設、環境衛生施設、医療文化施設等の公用・公共用施設の整備等が見込まれるが、これらの実施に当たっては、貴重な野生動植物を含む豊かで多様性に富んだ自然環境を保全し、防災、景観等にも配慮した上で、適正な土地利用を図る必要がある。

( 3 ) 本部都市計画「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」

(平成 21 年 3 月 沖縄県)

<目標人口フレーム> 平成 37 年度：14,400 人

<将来像> やんばるの豊かな自然を守り育む都市  
山、川、海の水循環を軸とした持続的発展を遂げる都市  
国際観光リゾート拠点として成長・充実する都市  
川や港をいかし、伝統と共存する都市

○都市づくりの基本方針

海・山・半島の特性と歴史・文化をいかし、  
人と人との交流を大切にしたいやしの里づくり

北部都市圏で連携した都市づくり  
自然共生型土地利用を基盤とした循環型の都市づくり  
地域の歴史をつなぐ集落や市街地の再整備  
中核都市名護との連携強化  
国際的な観光都市づくり

○区域区分の方針：区域区分を定めない

○土地利用に関する主要な都市計画の決定の方針

**主要用途の配置の方針**

今後、良好な市街地環境の保全・形成を図るため、土地利用現況を踏まえつつ、将来の市街地像を明確にした上で、用途地域の指定を検討する。

**優良な農地との健全な調和に関する方針**

既存集落周辺の豊かな農住環境を維持していくために、優良農地は、土地利用調整等により保全に努める。

**自然環境形成の観点から必要な保全に関する方針**

八重岳や山里円錐カルスト地域の豊かな森とそれを源に流れる河川、河川周辺に広がる農地、河口部の港町及び良好な自然海岸等、やんばるの水循環を基軸とした自然環境や中心集落周辺を取り巻く斜面緑地については、緑地保全地域や風致地区の指定等による保全に努める。

**計画的な都市的土地利用の実現に関する方針**

用途地域の指定のない本区域においては、無秩序な開発を抑制するため、土地利用の動向並びに人口動態や経済動向等を見据え、建築物の建ぺい率、容積率等の建築形態規制の見直しを必要に応じて検討する。

## 第 章 本部町における現状と課題

### ○都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針

#### **自然環境に配慮した道路網の形成**

本区域では、沿道の動植物や景観に配慮した道づくり（エコロード）を進めるとともに、物流や人々の交流の活性化に資する幹線道路網の形成を図る。

#### **歩行者優先道路の整備**

中心集落においては、港、公園緑地等の公共施設と河川沿いや海岸線を相互に連結させる歩行者や自転車利用者が安全で快適に利用可能な道路整備に努める。

#### **観光リゾートを支えるやんばる路の保全**

国道等の幹線道路をはじめ、補助幹線道路、生活道路等の既存の交通施設は、周辺の自然や歴史文化と調和したやんばる路として、その維持管理とともに道の個性の確保に努める。

#### **港湾**

本部港（本部地区・渡久地地区）は、従来の港湾機能を充実させつつ、国営沖縄記念公園海洋博覧会地区や観光・リゾート地への海上交通の利便性向上、大型クルーズ船の寄港、みなとまつり等での利用への対応等、観光レクリエーション機能及び流通業務機能等を有する港湾としての施設整備を推進する。

### ○主要な緑地の配置の方針

八重岳の頂部施設地跡をいかし、自然的環境の保全・活用拠点の形成を図るとともに、山里円錐カルストの特徴的な石灰岩地形が作り出す自然風景地の保全と活用、瀬底島・水納島・本部海域の保全を推進する。

国営沖縄記念公園海洋博覧会地区の機能拡充とともに、基幹公園の充足、町営公園の充実、満名川桜並木公園の検討等、地域特性を生かした特色ある公園整備に努める。

### ○景観形成に関する方針

いやしを感じる都市空間の創出には、良好な景観形成も重要であり、今後、景観計画の策定を促進し、計画的な景観形成・保全に努めます。

( 4 ) 平成 13 年度北部振興事業基本構想

( 平成 14 年 3 月 北部広域市町村圏事務組合 )

○ 北部振興の基本理念

人と自然と産業が響きあう「やんばる交響都市圏」の確立

沖縄本島北部地域に多角的な振興効果をもたらす産業の導入・育成を図り、同時に、経済活動を活発化する人口定住基盤を自然環境に配慮しながら整備することで、人の生活と自然の営みが調和しつつ向上していく共生型の社会システムと次世代型の産業構造を構築する。

○ 北部地域振興の基本方向

自然と共生する安心生活空間の創出  
世界につながる未来型産業への展開  
起業のインキュベーター地域としての位置付け  
地域を豊かにする文化交流産業の創出  
地域産業を支える環境の保全・醸成・活用  
産業を支える人材の育成・確保

○ 各ゾーンでの振興事業構想

広域都市拠点ゾーン（名護市・本部町・宜野座村・今帰仁村）

IT 産業の集積とその基盤を活用した既存産業の生産性向上

北部振興を担う人材の一貫的育成

IT を活用した都市機能の強化と生活環境の整備

環境ビジネスにおける優位性の確立

農林水産業を中心とした地場産業の質的転換による地域収益性の向上

## 第 章 本部町における現状と課題

### ( 5 ) 本部町第 3 次総合計画基本構想\* ( 平成 16 年 3 月 本部町 )

<目標人口フレーム> 平成 25 年度：16,000 人

<将 来 像> 「太陽と海と緑—観光文化のまち」

#### < 5 大プロジェクト>

健康・保養のまちづくり —もとぶウェルネスまちづくり—

本部八重岳桜まつりの拡充構想 —八重岳周辺観光施設整備事業—

山里円錐カルスト地形の景観づくり—山里円錐カルスト公園整備プロジェクト—

新たな活力を育むまちづくり —新規産業育成プロジェクト—

みなとの町のにぎわいづくり —ウォーターフロント構想—

#### <土地利用の基本方針>

|         |                                                                                                         |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 農 用 地   | 地域の特性を活かした亜熱帯農業、山間農業等の確立を図り、農業やかんがい排水施設等生産基盤の整備と高度利用を推進する。                                              |
| 森林・原野   | 積極的な保全を図り、必要な部分については周辺環境に配慮しながら観光・レクリエーションの場としての活用を図る等総合的かつ計画的な利活用を推進する。                                |
| 市街化地域   | 中心市街地および周辺市街地の用途地域への編入を検討するとともに、住環境の改善や住宅地の確保、商業地域の活性化、工業地の適正配置、港湾背後地の流通業務地域の適正配置、および都市施設の導入等を積極的に推進する。 |
| 集 落 地 域 | 道路、排水施設、コミュニティ施設、防災施設、し尿処理施設、家庭廃棄物処理施設、園地・遊び場等の整備を図るとともに、住宅地の確保および墓地の集団化を促進し、良好で快適な集落環境の保全・維持に努める。      |

#### \*総合計画とは・・・

地方自治法第 2 条第 4 項に基づく自治体の全ての計画の基本となる計画のことで、自治体の全ての事務事業はこの総合計画に沿って行われることとなる。

総合計画は、一般に長期のまちづくりのビジョンを示す基本構想(計画期間 10 年)、基本構想で示された都市像を実現するための施策を定める計画である基本計画(計画期間 5 年)がある。

( 6 ) 第 3 次本部町総合計画基本計画\* ( 平成 16 年 3 月 本部町 )

< 基本計画 >

|            |                                                                                                                                                                                          |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 農業の振興      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産性の向上 ( 優良農地の確保・遊休地対策の推進 )</li> <li>・ 観光農業の展開 ( 田園空間整備事業の推進 )</li> </ul>                                                                       |
| 観光の振興      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光拠点の形成 ( 「 渡久地港ウォーターフロント構想 」 「 八重岳周辺観光施設整備事業 」 「 山里円錐カルスト公園整備プロジェクト 」 の推進 )</li> <li>・ リゾート景観の形成 ( 自然景観の保全・育成、景観ガイドライン・景観条例等の策定検討 )</li> </ul> |
| 自然環境の保全・育成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑地の保全・育成 ( 自然植生の育成・保護、八重岳桜の森公園の整備、山里円錐カルスト公園国定公園化の推進、緑地保全地区・風致地区指定の検討 )</li> <li>・ 海域の保全・育成 ( 赤土流出等陸域からの被害低減 )</li> </ul>                       |
| 道路網の整備     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良好な道路景観の創出 ( 沿道緑化活動・美化活動の推進 )</li> </ul>                                                                                                        |
| 河川・排水路の整備  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 満名川の整備 ( 親水公園としての整備推進、緑地と中心市街地を結ぶさくら並木の形成 )</li> <li>・ 河川環境の保全 ( 赤土流出による河川汚濁の未然防止、町民の意識高揚による生活排水の流入防止、美化活動の推進 )</li> </ul>                      |
| 市街地の整備     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良好な市街地の形成 ( 積極的な緑化活動の促進 )</li> </ul>                                                                                                            |
| 集落環境の整備    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良好な集落景観の創出 ( フクギ ( 屋敷林 ) 拝所といった歴史的資源の保全・活用、景観形成モデル地区における重点的な施策の推進、建築協定・緑化協定の導入検討 )</li> </ul>                                                   |
| 上水道の整備     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貴重な水資源の確保 ( 森林地域・水系の保全 )</li> </ul>                                                                                                             |
| 公園・緑地の整備   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域コミュニティの形成 ( 地域における公園や農村公園の整備、墓地公園整備の検討 )</li> <li>・ 骨格となる自然を活かした拠点の形成 ( 山里円錐カルスト公園整備プロジェクトの推進、満名川におけるさくら並木の形成・親水公園としての整備 )</li> </ul>         |
| 地域文化の継承・発展 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化財の保全・活用 ( 文化財周辺の環境整備推進 )</li> <li>・ 伝統芸能および伝統文化の継承・発展 ( 伝統技術工芸の後継者育成促進、伝統芸能等の保存・記録の推進、芸能祭りの開催検討 )</li> </ul>                                  |

## 第 章 本部町における現状と課題

### <地区別振興の基本方向>

#### ○北 部 地 区

伝統的な集落環境の特性を活かし、自然環境と田園景観の保護・継承を図るとともに、それに支えられた豊かな地域コミュニティの形成を図る。

国営沖縄記念公園の周辺地域においては良好な自然や歴史・文化環境を保全しながらリゾート地としての望ましい景観の形成と誘導を図る。

#### ○中北部地区

山里円錐カルストを中心とする自然環境と田園景観の保護・継承を図り、観光資源としての利活用を促進する。

海岸沿いにおいては良好な住宅環境の形成を図り、地域緑化・美化を推進するとともに、人工ビーチの整備を促進する。

#### ○中南部地区

中心市街地においては、都市計画用途地域の指定について検討を行い、市街地再開発を含めて良好な市街地の整備を促進する。

山地および河川沿いの地域においては、自然環境と田園景観の保護・継承を図るとともに、伝統的文化に支えられた集落環境の形成と誘導を図る。

#### ○東 部 地 区

豊かな自然景観と伝統的な集落景観の特性を活かし、魅力的な田園空間として都市地区との共生推進を図る。

#### ○南 部 地 区

本部港とその周辺地域については、沖縄県の港湾整備計画との連携を図り、沖縄本島北部地区の海上交通拠点としての機能の拡充を図るとともに、リゾート地にふさわしい周辺地域の整備を促進する。

瀬底島、水納島については海浜、海洋レジャーの振興を図る拠点地区として位置づけ、ビーチ施設等の整備を促進する。

### 3．本部町における現状と課題

#### (1) 人口減少及び少子高齢化への対応と既存集落の活力回復

本町は、沖縄県内の他市町村と比較して少子高齢化が進行し、小学校閉校等の影響が見られ、定住化の促進等により人口の回復が望まれる。

また、大浜、谷茶等市街地のみならず、北部地区、東部地区の人口減少傾向が顕著であり、既存集落におけるコミュニティの維持と活力回復が求められる。

#### (2) 用途地域の指定等による土地利用の整序

本町は、沖縄県内の都市計画区域で、唯一用途地域が指定されていない。しかしながら、大浜、谷茶、渡久地、東等の市街地においては、用途の混在や建て詰まり等も見られるため、用途地域の指定等により土地利用の適正化が望まれる。

#### (3) 開発動向・新築動向への対応

近年、幹線道路沿線や離島部において開発動向や新築動向が顕著であり、都市的土地利用と自然環境との調和や、良好な景観形成の観点から無秩序な開発等への対応が望まれる。

#### (4) 海、山等豊かな自然環境の保全活用

本町においては、八重岳、円錐カルスト地域、満名川、ビーチ等豊かな自然環境があり、保全を図るとともに、貴重な観光資源として活用が望まれる。

#### (5) 優良農地の保全活用

本町の基幹産業のひとつである農業を支える優良農地等については、保全を図るとともに、観光農業の推進等観光資源として活用が望まれる。

#### (6) 本部町らしい良好な景観の形成

本町においては、八重岳、円錐カルスト地域、備瀬のフクギ並木、ビーチ、瓦屋根住宅、石垣、御嶽が残る伝統的な集落形態等、変化に富んだ自然的、文化的景観資源を有しており、これらを活かした景観の形成が望まれる。また、現在整備中の国道 449 号等幹線道路においては、良好な道路景観の形成が望まれる。

#### (7) 中心市街地の活性化

町営市場周辺の市街地においては、近年、空き店舗の活用や各種イベントの開催等、活性化に向けた取り組みが進められているところである。今後、港との連携等、中心市街地の活性化に資するまちづくりを進める必要がある。

## 第 章 本部町における現状と課題

### ( 8 ) みなとまちづくりの推進

本町においては、本島北部の海の玄関口となる本部港（本部地区）が存在する。第 3 次総合計画における 5 大プロジェクトのひとつとして本部港（渡久地地区）を中心とした「みなとまちづくり」が位置付けされており、港湾整備と中心市街地活性化方策、観光振興方策等が連携することにより、港湾と市街地が一体となったみなとまちづくりを推進することが望まれる。

### ( 9 ) 上本部飛行場の跡地利用の検討

昭和 46 年に返還された上本部飛行場は、長期にわたってその跡地利用が図られていない地域である。同地域は約 75ha という広大な土地を有しており、本町全体のまちづくりの方針等と整合を図りながら、跡地利用の検討が望まれる。

### ( 10 ) 道路網の整備と公共交通体系の確立

日常生活の利便性向上、都市サービスの享受等の観点から、名護市、今帰仁村等周辺市村を含めた一体的な道路網の整備が望まれる。

また、環境問題への配慮や、高齢者等交通弱者への対応として、バス交通を含めた誰もが移動しやすい公共交通体系の確立が望まれる。

### ( 11 ) 観光拠点のネットワーク化

本町の基幹産業のひとつである観光の振興に資するため、八重岳、円錐カルスト地域、本部港（渡久地地区・本部地区）、国営沖縄記念公園海洋博覧会地区等主要な観光拠点間を結ぶ道路整備や、誘導標識等の充実、景観形成と併せた沿道空間の創出等、観光拠点のネットワーク化が望まれる。

### ( 12 ) 狭隘道路の解消

市街地においては、緊急車両の進入が困難な道路が存在し、安全性、防災性の観点から狭隘道路の解消が望まれる。

### ( 13 ) 歩行者にやさしい道路環境の創出

市街地や集落の道路においては、歩道が狭い、もしくは歩道が無い箇所がある一方で、近年レンタカーを含め幹線道路等の交通量が増大しており、歩道の整備、街路樹やポケットパーク等の確保、バリアフリー化等により、安全で快適に歩行できる道路環境の創出が望まれる。

### (14) 下水道等の整備促進

下水道は平成 22 年現在で、計画面積 664ha に対し、供用開始面積 432ha と、整備率 6 割強となっており、河川環境、海浜環境の保全の観点から整備促進が望まれる。

### (15) 公園緑地等の身近なアメニティの向上

本町の一人当たりの公園供用開始面積は 51.0 m<sup>2</sup>/人（平成 18 年現在）であるが、国営沖縄記念公園海洋博覧会地区によるものが大きく、身近に憩える公園等が不足している。満名川沿いにおける緑地整備や、快適でゆとりある歩道空間、市街地におけるオープンスペース、街区公園の整備等、身近な公園緑地の確保によるアメニティの向上が求められる。

### (16) 墓地の集約化の検討

市街地や市街地周辺の農地、原野等に散在する墓地は、景観上の阻害要因となっているものがあり、適正な誘導や墓地の集約化等の検討が求められる。

### (17) 歴史・文化資源の保全活用

備瀬のフクギ並木や、山川等のフクギの屋敷林と石垣が残る<sup>ヤードツイ</sup>屋取集落、瓦屋根住宅の残る集落、御嶽等歴史・文化資源の活用が求められる。

### (18) 公共施設の耐震化促進

官公庁舎、医療施設等、不特定多数の住民が利用する施設においては耐震化の促進が望まれる。

### (19) 低地における津波対策

西海岸や瀬底島、水納島の低地においては大規模な地震に伴う津波が想定され、その対策が望まれる。

### (20) 災害時の避難路、避難経路の確保

津波や火災等災害時の避難路、避難経路の確保とともに、地域住民や観光客等の適正な避難誘導策の確立が望まれる。

### (21) 公共施設の長寿命化促進

橋梁、下水道、都市公園及び公営住宅等については、これまでの事後的な修繕から事前的な維持保全への転換により、施設の長寿命化を図ることが望まれる。

## 第 章 本部町における現状と課題

### (22) バリアフリー化の促進

官公庁舎、道路、公園等の公共施設や、医療施設、商業施設等、不特定多数の住民が利用する施設におけるバリアフリー化の促進が望まれる。

### (23) 高齢者対応住宅の整備検討

高齢化の進行に伴い、高齢者に対する安定的な居住の確保を図ることが望まれる。